

第二次県立病院改革プランの平成 26 年度取組状況



～ 目次 ～

第1 改革プランの基本的な考え方

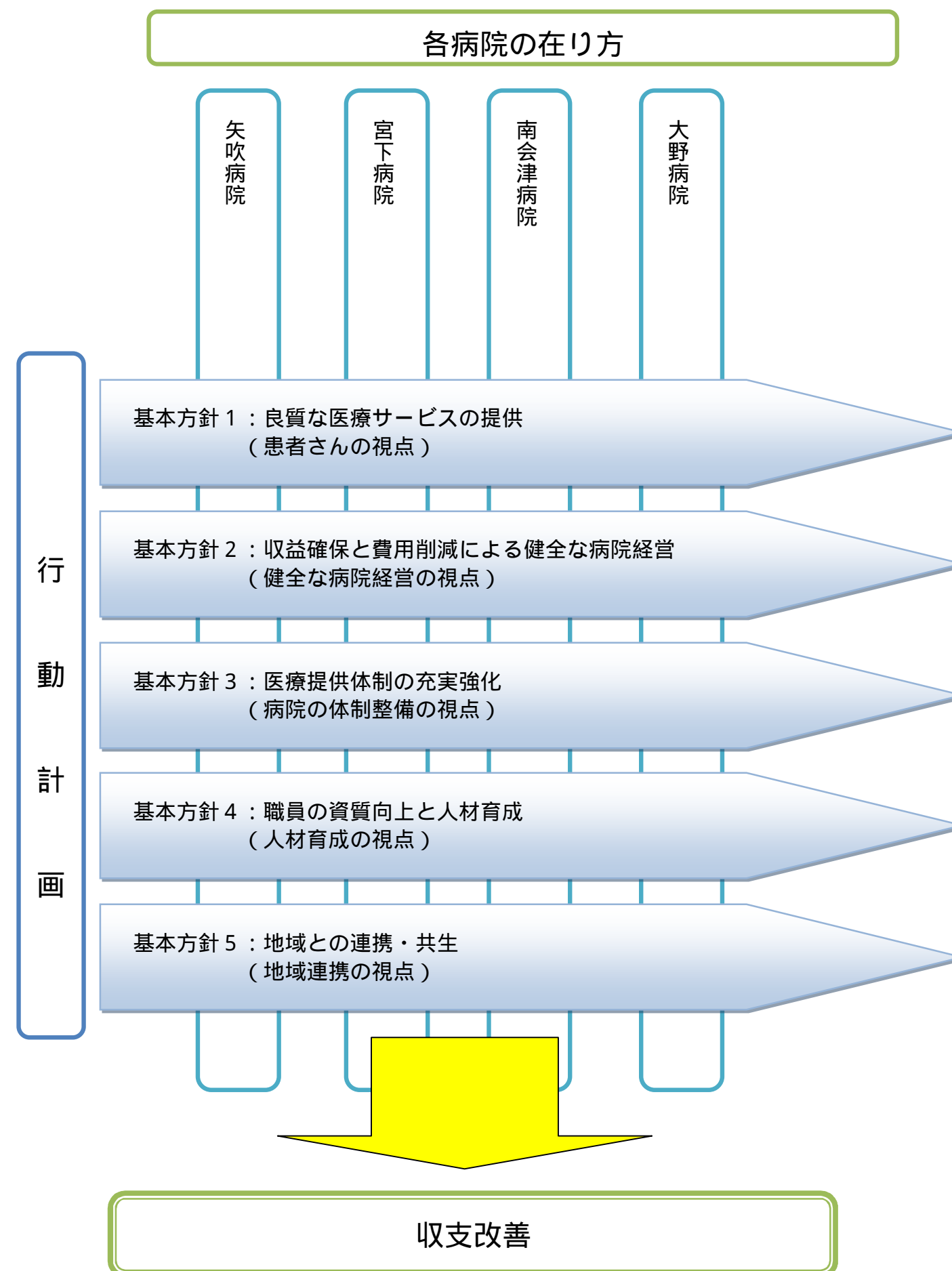
- 1 県立病院概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1
- 2 改革プランの概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2

第2 評価方法

- 1 自己評価方法について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3
- 2 自己評価基準について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3

第3 自己評価

- 1 県立病院の在り方
 - (1) 矢吹病院・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4
 - (2) 宮下病院・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5
 - (3) 南会津病院・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6
 - (4) 大野病院・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 7
- 2 行動計画
 - (1) 基本方針1：良質な医療サービスの提供・・・・・・・・ P 8
 - (2) 基本方針2：収益確保と費用削減による健全な病院経営・・ P 13
 - (3) 基本方針3：医療提供体制の充実強化・・・・・・・・ P 21
 - (4) 基本方針4：職員の資質向上と人材育成・・・・・・・・ P 25
 - (5) 基本方針5：地域との連携共生・・・・・・・・ P 31
- 3 収支計画
 - (1) 平成26年度県立病院事業会計決算の概要・・・・・・・・ P 37
 - (2) 県立病院事業の収支計画について・・・・・・・・ P 38
 - (3) 各病院の収支計画について・・・・・・・・ P 39



県立病院概要

福島県立病院は、昭和 24 年に日本医療団から譲り受けた 7 病院 17 診療所を主体として発足し、その後医療行政の一環として、地域における病院の設置、他の公共団体に対する移管等を行い、現在は 4 病院となっている。

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

病院名	開設年月	標榜診療科名 ()は非常勤医師の診療科 【 】は休診中の診療科	病 床 数 (許 可)					看護体制	職 員 数								
			一般	結核	精神	感染症	計		医師	看護	薬剤	給食	医療 技術 職	事務	その他 職員	H27.3 合計	H26.3 合計
矢 吹	昭和 30 年 11 月	精神科/内科/(歯科)			206		206	15 対 1 看護補助加算 1	7	77	2	5	12	6	1	110	117
宮 下	昭和 26 年 11 月	内科/【外科】/(整形外科)/(皮膚科)/(耳鼻いんこう科)/(神経精神科)/(循環器内科)	32				32	10 対 1	4	19	2	2	2	6	0	35	36
南 会 津	昭和 24 年 7 月	内科/外科/整形外科/小児科/(麻酔科)/(耳鼻いんこう科)/(眼科)/(婦人科)/【産科】(皮膚科)/(神経精神科)/(神経内科)/(泌尿器科)/(漢方内科)	98				98	10 対 1	11	82	4	1	14	8	0	120	124
大 野 休止	昭和 26 年 12 月	【内科/消化器科/外科/整形外科/小児科/麻酔科/眼科/呼吸器科/泌尿器科/産婦人科】	146			4	150	7 対 1	0	51	4	4	10	1	0	70	73
合 計			276	0	206	4	486		22	229	12	12	38	21	1	335	350

注) 職員数には再任用職員は含まない。

1 策定の主旨

県立病院事業は、平成 16 年度から地方公営企業法の全部適用に移行し、平成 19 年 3 月に「福島県立病院事業経営改善計画」、続いて平成 21 年 5 月に国の公立病院改革ガイドラインに基づく「福島県立病院改革プラン」を策定し、医療機能や政策医療を確保しながら、「経営の効率化」「再編・ネットワーク化」「経営形態の見直し」の 3 つの視点に立った改革を推進してきた。

この間、県立医科大学会津医療センターの整備、大野病院と福島県厚生農業協同組合連合会が運営する双葉厚生病院との経営統合の決定、病院規模の見直しなど、一定の成果を上げることができた。

しかし、その一方で、県立病院事業の取り巻く環境は依然として厳しく、とりわけ医師不足の問題は深刻な状況が続いている。加えて、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震とそれに伴う大津波、東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故による災害は、本県の医療提供体制に大きな影響を及ぼしており、県立病院においても、大野病院が病院機能を停止するとともに、双葉厚生病院との経営統合が延期となるなど、新たな課題も発生している。

よって、これまでの改革の視点を承継しながら、県立病院が直面する諸課題に的確に対応するとともに、安全・安心で良質な医療を安定的に提供していくため、前計画に引き続き、『地域に必要とされる質の高い医療の提供と病院経営の健全化』を基本目標とする「第二次福島県立病院改革プラン」を策定する。

2 県立病院の在り方

地域に必要な医療を安定的かつ継続的に提供できる体制の構築を図ることを基本として、以下の見直しを行う。

病院名	果たすべき役割	経営形態
矢吹病院	措置入院患者や民間病院では受入が難しい処遇困難患者等の受入れなどの政策的な精神医療の提供	県立病院として経営
宮下病院	へき地における医療提供	県立病院として経営
南会津病院	へき地における医療提供	県立病院として経営
大野病院	東日本大震災前の課題を踏まえた役割（医療拠点としての中核的機能、二次救急医療への対応）に加え、震災後の課題を踏まえた役割を検討	福島県厚生農業協同組合連合会が運営する双葉厚生病院との統合が延期となっている状況であり、引き続きその時期について検討

3 行動計画

「親切・信頼・進歩」という県立病院基本理念の下、政策医療の確保を始め、地域に必要とされる質の高い医療の提供と病院経営の健全化に向け、以下の 5 つの基本方針により取り組む。

基本方針
1 良質な医療サービスの提供
2 収益確保と費用削減による健全な病院経営
3 医療提供体制の充実強化
4 職員の資質向上と人材育成
5 地域との連携・共生

4 収支計画

上記の基本方針に基づき、病院経営の健全化に向けた目標を設定し、具体的な取組みを確実に実行する。

【経営健全化に向けた収支目標】

各病院が果たすべき役割及び医療機能等を確保しながら、効率的な運営に努め、計画期間内に一般会計繰入金のうち「政策医療に係る経費」を平成 24 年度比で 90%以下（24 年度:約 12 億円 28 年度:約 10.6 億円）に縮減することを目指す。

【累積欠損金の処理に係る対応方針】

累積欠損金については、未利用財産の売却等による収益確保や資本剰余金の取り崩し、さらには地方公営企業法の改正により可能となった資本金の額の減少（減資）による処理の検討など、様々な手段を講じ、計画的な削減に努める。

5 計画期間

平成 26 年度から平成 28 年度までの 3 年間

6 進行管理

進捗状況については、毎年、有識者で構成される「県立病院事業経営評価委員会」の評価を受けるとともに、ホームページ等で公表する。

県立病院を取り巻く環境の変化に対応するため、必要に応じ、適切な見直しを行う。

1 自己評価方法について

改革プランの取組状況については、下記の『県立病院の在り方』、『行動計画の基本方針 1 ～ 5 に掲げる 11 の共通目標』、『全体の収支計画』に対して、右記の 5 段階の評価基準により自己評価を行った。

評価項目		
在り方	矢吹病院	
	宮下病院	
	南会津病院	
	大野病院	
行動計画	基本方針 1	医療の質の向上
		患者サービスの向上
	基本方針 2	収益の確保
		未収金の発生防止と早期回収の強化
		費用の見直し
	基本方針 3	診療体制及び経営基盤の強化
		医療安全対策の強化
	基本方針 4	人材の育成と確保
		職員の意識改革
	基本方針 5	地域医療機関等との連携
		県民への情報提供
収支計画	県立病院事業の収支計画	
	矢吹病院	
	宮下病院	
	南会津病院	
	大野病院	

2 自己評価基準について

次の 2 つの観点から自己評価を行った。

平成 26 年度目標値の『達成状況』（定量的評価）

（計算式）当該年度実績値 / 当該年度目標値 × 1 0 0

目標値を達成するための『取組状況』（定性的評価）

目標値達成状況の自己評価（定量評価）		取組状況の自己評価（定性評価）	
【 5 】	目標値を上回った 達成度 1 0 0 % 以上 1 2 0 % 未満	【 5 】	極めて積極的に行われている
【 4 】	目標値を達成できた 達成度 9 0 % 以上 1 0 0 % 未満	【 4 】	積極的に行われている
【 3 】	目標値をほぼ達成できた 達成度 7 0 % 以上 9 0 % 未満	【 3 】	取り組んでいる
【 2 】	目標値を下回った 達成度 5 0 % 以上 7 0 % 未満	【 2 】	消極的である
【 1 】	目標値を大きく下回った 達成度 5 0 % 未満	【 1 】	実施に至っていない

1 矢吹病院

(医師数：7人・病床数206床・精神病院)

	改革プランの内容		平成 26 年度の取組状況及び自己評価			
役割	果たすべき役割	措置入院患者や民間病院では受入が難しい処遇困難患者等の受入れなどの政策的な精神医療の提供	取組状況自己評価		【 5 】	極めて積極的に行われている
	経営形態	県立病院として経営				
医療機能	措置入院患者や処遇困難患者等の受入れ	措置入院患者や民間精神病院では受入れが難しい処遇困難患者等の受入れを引き続き実施する。	保護室の回転率を高める等により、措置入院や応急入院等の処遇困難例を積極的に受け入れた。			
				H 24	H 25	H 26
			措置入院	10 人	10 人	2 人
			処遇困難	12 人	22 人	19 人
	医療観察法に基づく患者への支援	心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者に対する医療の確保と社会復帰への支援を行うため、医療観察法に基づく指定入院医療機関としての指定について検討を行う。なお、指定通院医療機関としての役割については、引き続き担っていく。	平成 22 年度より指定入院医療機関としての整備検討を開始し、平成 24 年度に矢吹町へ計画の説明を行ったが、矢吹町議会全員協議会を中心に反対意見があり事業進捗は停滞した。 その後、医療観察法病棟の病床数を 17 床から 8 床程度に縮小したうえで、平成 26 年 7 月に改めて町へ説明を行ったが、再び反対意見が出された。 今後は地域住民との交流イベントなどを通じて、精神疾患に対する地域住民の理解と協力を広げていきながら、本計画の実現を目指していくこととする。			
	患者の地域生活移行への支援	入院患者の早期退院に向けて、適切な治療や集中的なりハビリを行うとともに、訪問看護やデイケア等を充実し、包括型地域生活支援プログラム（ACT）の展開も視野に入れながら、地域移行・地域定着の支援を行う。	医療相談室及び訪問看護室を中心とする従来の支援活動に加え、平成 26 年度からは試行的にアウトリーチチームによる支援を開始した結果、退院者数は 137 名と過去 2 番目の数となり、平均在院日数も前年度比 33.3 日減の 337.0 日となった。			
				H 24	H 25	H 26
			訪問看護	7.3 人/日（82 人）	7.2 人/日（76 人）	8.8 人/日(108 人)
		デイケア	17.6 人/日(52 人)	15.1 人/日(48 人)	12.3 人/日(48 人)	
医療機能	専門的医療の実施	児童思春期に特有な疾患や症状を対象に専門的な治療を行うため、県立医科大学等との連携強化を図りながら、児童思春期精神医療を引き続き実施するとともに、ストレスケア等の専門的医療の実施に向けて引き続き検討する。	児童思春期精神医療として、児童思春期外来を平成 23 年 8 月に開設し、教育関係者への講演会開催等による啓蒙活動を併せて行った。 県南地区には児童思春期外来がないこともあり、地域のニーズは大きく、平成 26 年度の患者数は前年度比 146 名増の 722 名となり順調に増加した反面、新患は 2 ～ 3 か月待ちとなっていることから、引き続き診療体制の充実を図り、待機期間の短縮に努めていくこととする。 診療曜日は、月曜日(隔週)、火曜日、水曜日・金曜日(各月 1 回)、木曜日、第三土曜日			
				H 24	H 25	H 26
			児童思春期外来患者数	426 人	576 人	722 人
	精神科救急医療への対応	精神科救急医療システム（病院輪番制）に指定されており、一般救急医療機関や民間精神医療機関と連携しながら、引き続き救急医療を実施する。	救急輪番対応日数は 85 日（夜間 70 日、休日 15 日）で、受診は前年度比 8 件増の 32 件、入院は前年度比 3 件増の 14 件、電話相談は前年度比 15 件増の 62 件の実績であった。 空床確保事業として、輪番当番日に空床を 1 床確保した。			
医療機能	臨床研修病院としての研修・教育機能の展開	県立医科大学や白河厚生病院等の協力型臨床研修病院として、臨床研修医への研修、教育を行うとともに、看護学生や作業療法士等の実習生を積極的に受け入れるなど、人材育成に向けた支援を行う。	白河厚生総合病院から前年度比 4 名減の 2 名、公立岩瀬病院から前年度比 1 名減の 1 名の研修医を受け入れた。			
	精神科医療の普及・啓発	地域の医療機関や介護施設等とも連携しながら、出前講座など地域住民向けの講演会やホームページ・院外広報紙の発行等を通じ、精神科医療に関する情報を提供するなど、精神科医療の普及・啓発を行う。	精神疾患に対する地域住民の正しい理解が深まるよう、児童思春期医療シンポジウムの開催や地域住民との交流イベントの実施、広報誌「彩雲」の発行などを通じて、積極的に情報発信を行った。			
	規模	入院患者の動向等に考慮しながら、病棟のダウンサイジングと機能分化を図るとともに、医療観察法病棟の整備に向けた検討を行う。		平成 27 年 4 月 1 日付けで 4 病棟体制から 3 病棟体制へ再編し、平成 27 年度に機能別病棟再編を実施する。(4 病棟 3 病棟 [1 病棟:急性期、2 病棟:重症・合併症、3 病棟:社会復帰])		

2 宮下病院

(医師数： 4 人 病床数 32 床)

	改革プランの内容		平成 26 年度取組状況及び自己評価			
役割	果たすべき役割	へき地における医療提供	取組状況自己評価		【 4 】	積極的に行われている
	経営形態	県立病院として経営				
医療機能	急性期医療の実施	へき地医療拠点病院であり、当診療圏唯一の病院として緊急の内科的・外科的処置に対応する医療機能を確保し、県立医科大学会津医療センター等の支援を受けながら、この地域に不足している、高齢者に多い疾患に対応する医療（整形外科、精神科、耳鼻咽喉科、皮膚科、リハビリテーション等）を提供する。	県立医科大学等との連携を強化しながら、高齢者に多い疾患に対応した医療の提供に努めた。			
				H 24	H 25	H 26
			整形外科	2 回 / 月	4 回 / 月	4 回 / 月
			神経精神科	1 回 / 隔週	1 回 / 週	1 回 / 週
			耳鼻咽喉科	2 回 / 月	2 回 / 月	2 回 / 月
			皮膚科	2 回 / 月	2 回 / 月	2 回 / 月
			循環器内科	-	1 回 / 月	1 回 / 月
	へき地における医療の確保	へき地医療拠点病院として、国保診療所への医師派遣機能を維持しながら、訪問診療・訪問看護等により住民の医療を確保するなど、県内で最も高齢化率が高い地域特性に対応した医療を提供するとともに、国保診療所の医師と連携し、特別養護老人ホーム診療所への医師派遣を行う。	国保診療所等への医師派遣を行った。			
				H 24	H 25	H 26
			柳津町国民健康保険診療所	44 回	43 回	48 回
			金山町国民健康保険診療所	192 回	47 回	142 回
			只見町国民健康保険朝日診療所	-	-	7 回
			特別養護老人ホーム桐寿苑	50 回	50 回	51 回
			特別養護老人ホーム昭和ホーム	-	15 回	23 回
			地域の方々が安心して在宅療養していただけるように訪問診療・訪問看護を実施した。			
				H 24	H 25	H 26
			訪問診療	121 件（ 18 人）	84 件（ 15 人）	77 件（ 14 人）
			訪問看護	10 件（ 5 人）	44 件（ 8 人）	12 件（ 3 人）
			() 内は対象者数			
	臨床研修協力施設としての研修・教育機能の展開	県立医科大学や自治医科大学等と連携しながら、臨床研修協力施設として、臨床研修医への研修、教育を行うとともに、地域医療に関心を持つ医学生等を積極的に受け入れるなど、人材育成に向けた支援を行う。	臨床研修医や学生への研修・教育を行い、地域医療への理解と動機付けの機会とした。			
				H 24	H 25	H 26
			初期研修医の受入	1 人	1 人	3 人
			地域医療体験研修の受入	5 人	10 人	11 人
	地域住民の健康増進への支援	地域の医療機関や介護施設等とも連携しながら、健康診断や人間ドック等を実施するとともに、出前講座や院内健康教室等を通して、予防医学の啓発や教育活動を行い、地域住民の健康増進への支援を行う。	健康診断や人間ドックなどを実施したほか、地域に出向く活動も積極的に展開した。			
				H 24	H 25	H 26
			健康診断実施人数	273 人	229 人	233 人
			人間ドック実施人数	19 人	18 人	3 人
			健康診断事業受託件数	16 件	26 件	27 件
			院内健康教室の開催	年 13 回・ 99 人	年 22 回・ 148 人	年 12 回・ 93 人
			心ある医療「出前講座」の開催	年 29 回・ 541 人	年 21 回・ 417 人	年 21 回・ 465 人
	救急医療への対応	救急協力病院として、必要な医療機能や病床を確保する。地域の医療機関等と連携を図りながら、引き続き救急医療を実施する。	救急搬送受入件数 100 件(対前年度比 + 6 件) 救急医療合同研修開催 1 回(会津坂下消防署救急隊員 18 名、職員 14 名参加)			
規模	診療圏の人口動向や今後の患者数見込み等を踏まえながら、病床数（ 32 床 ）の適正化を図る。		病床利用率 54.0%(前年度 36.0%)			

朝日診療所の
医師 1 名減に伴
い 26 年度に限
り派遣

3 南会津病院

(医師数：11 人 病床数 98 床)

	改革プランの内容		平成 26 年度取組状況及び自己評価					
役割	果たすべき役割	へき地における医療提供	取組状況自己評価		【 5 】		極めて積極的に行われている	
	経営形態	県立病院として経営						
医療機能	急性期医療の実施	南会津地域唯一の病院として、入院・専門外来（人工透析など）に係る医療機能を引き続き確保し、県立医科大学会津医療センター等の支援を受けながら、急性期医療を実施する。	整形外科は、対前年度で 1 名増の 3 名体制で診療を行った。 産婦人科は、民間クリニックの支援を受け、月 1 ～ 2 回程度、診療回数を増やすことができた。 平成 26 年 4 月より会津医療センターの支援を受け、漢方内科を開設した。					
	へき地における医療の確保	へき地医療拠点病院として、地域の公的診療所への医師派遣機能の維持など、県立医科大学会津医療センター等の支援を受けながら、へき地医療を提供する。	只見町国民健康保険朝日診療所への診療応援を行った。 平成 26 年度は、従来の整形外科医の派遣に加え、同診療所の医師欠員への対応として、毎週水・金曜日の外来、毎週火曜日の当直、毎月 1 回金曜日当直～土曜日の日直を行った。					
				H 24	H 25	H 26		
			只見町国民健康保険朝日診療所	22 回 / 年	23 回 / 年	210 回 / 年		
	救急医療への対応	近年の救急車の搬送件数の増を踏まえ、引き続き南会津地域唯一の第二次救急医療機関（救急告示病院）として、24 時間 365 日体制で救急医療を実施する。	時間外患者数は、前年度比 158 人増の 4,640 人となった。一方、救急車の受入回数は、前年度比 25 回減の 764 回となった。					
				H 24	H 25	H 26		
			時間外患者数	4,573 人	4,482 人	4,640 人		
			救急車の受入回数	825 回	789 回	764 回		
	災害時医療への対応	大規模災害時に多発する重篤救急患者への救命医療に対応するため、地域災害医療センターとして、引き続き災害時医療を実施する。	災害拠点病院の指定要件となった災害派遣チーム(D M A T)を平成 25 年度に設置し、隊員 5 名による 1 チームを編成、災害時における医療提供体制の充実を図った。 災害派遣医療チーム研修に隊員医師を派遣し、人材育成に努めた。 多数傷病者対応訓練の実施や福島 D M A T 衛星電話通信訓練に参加した。					
	総合的な医療の提供	診断・治療からリハビリテーションに至る総合的な医療を提供する。地域リハビリテーション広域支援センターの機能を活用し、地域の医療機関（地域医療支援センター及び診療所など）や福祉施設等との連携を図る。	理学療法士 3 名及び柔道整復師 1 名体制でリハビリテーションを実施した。 地域リハビリテーション広域支援センターとしての機能を発揮するため、地元保健、福祉関係団体等からの依頼により、専門的見地からの技術的指導等を実施した。					
	臨床研修病院としての研修・教育機能の展開	県立医科大学や自治医科大学等と連携しながら、協力型臨床研修病院として、臨床研修医への研修、教育を行うとともに、地域医療に関心を持つ医学生等を積極的に受け入れるなど、人材育成に向けた支援を行う。	臨床研修医や学生への研修、教育を行い、地域医療への理解と動機付けの機会とした。					
			H 24	H 25	H 26			
		卒後臨床研修	0 人	1 人	2 人			
		地域医療実習（自治医大生）	3 人	2 人	3 人			
地域住民の健康増進への支援	地域の医療機関や介護施設等とも連携しながら、健康診断、人間ドック等を実施するとともに、病院広報誌配布や出前講座等を通して、予防医学の啓発や教育活動を行い、地域住民の健康増進への支援を行う。	健康診断実施人数は前年度と同数の 774 人、うち人間ドック実施人数は、前年度比 18 人減の 179 人となった。						
			H 24	H 25	H 26			
		健康診断実施人数	798 人	774 人	774 人			
			うち人間ドック	165 人	197 人	179 人		
		広報誌を 3 回発行し、うち 2 回は郡内全戸に配布した。 小児科医による医療相談会を 5 会場で実施した。 医療講演等を 16 回実施した。（内訳：医師 4 回、看護師 3 回、理学療法士 9 回）						
規模	診療圏の人口動向や今後の患者数見込み等を踏まえながら、病床数（98 床）の適正化を図る。		病床利用率 58.5%(前年度 66.1%)					

4 大野病院

(休止中 病床数 150 床)

	改革プランの内容		平成 26 年度取組状況及び自己評価		
役 割	果たすべき役割	医療拠点としての中核的機能や二次救急医療への対応に加え、震災後の課題を踏まえた役割を検討	取組状況自己評価	4	積極的に行われている
	経営形態	福島県厚生農業協同組合連合会が運営する双葉厚生病院との統合が延期となっている状況であり、引き続きその時期について検討			
今 後 の 対 応	福島県厚生農業協同組合連合会とともに、延期している大野病院と双葉厚生病院との統合を再構築する中で、次の対応を検討する。		[当面の対応]		
	< 当面の対応 > 関係町村等の意向を踏まえながら、関係機関と協議を進め、双葉地域の復興に向けた医療課題の解決に向け、当面の医療需要に応じた規模の医療施設の整備を検討する。		対応方針等を踏まえ、双葉郡楢葉町に無床の県立診療所を整備する。		
	< 長期的な対応 > 住民帰還の動向に応じ、医療提供体制の規模を拡張させるなど、医療需要の変化に伴う段階的な対応を検討する。		平成 26 年 4 月 22 日開催の双葉地方町村長会議において、公的医療機関を楢葉町に設置する方向で意見が整理され、県へ要望があったことから、双葉地域の復興及び住民の帰還に向けた環境整備に資するため、双葉郡楢葉町に県立診療所を整備することとした。（平成 28 年 2 月開所予定） 平成 26 年度は、県立診療所整備計画を策定し、必要な予算と人員の確保を行ったほか、局内に開設準備プロジェクトチームを設置し、課題の洗い出し等を行った。 平成 28 年 2 月の県立診療所開所に向け、引き続き準備を進めていくこととする。		

県立大野病院附属ふたば復興診療所（仮称）整備計画

- < 診療所整備の基本的な考え方 >
診療科目：内科（常設） 整形外科（非常設）
診療機能：初期救急、プライマリケア及び慢性期医療等
設置期間：平成 28 年 2 月から双葉地域の医療体制の本格的回復まで
位置付け：大野病院の附属診療所
人員体制：医師 2 人、看護師 3 人、薬剤師 1 人、放射線技師 1 人、事務職員 1 人 開設時
診療時間：9 時～12 時 / 14 時～17 時 土日祝日を除く
- < 施設の基本情報 >
予 定 地：双葉郡楢葉町大字北田地内
敷地面積：概ね 3,000 m²
施設面積：概ね 500 m²
施設機能：診察室（4 室） 感染予防室兼観察室、X 線室、内視鏡室、薬局、事務室など
- < 導入予定の医療機器 >
X 線診断装置、超音波診断装置、C T 装置、経鼻内視鏡検査装置など
- < 今後のスケジュール >
平成 27 年 10 月：施設着工
平成 27 年 12 月：施設引渡し
平成 28 年 2 月：県立診療所開所

< 外観イメージ >



基本方針１：良質な医療サービスの提供（患者さんの視点）

【改革プラン方針】		平成 26 年度取組状況及び自己評価																															
地域住民の医療ニーズに的確に対応しながら、『質の高い医療サービスの提供』と『安らぎのある落ち着いた医療環境を提供できる患者サービスの向上』を通じ、患者さんの満足度の向上を図る。																																	
目標 1	医療の質の向上	目標値達成状況評価		取組状況評価																													
		【 - 】	目標値は設定していないため	【 4 】	積極的に行われている																												
[政策医療や予防医療の充実] 民間医療機関等では対応が困難なへき地医療や精神・感染症医療等政策医療を安定して提供するとともに、保健・医療・福祉の連携により、県医療計画に定める 5 疾病 5 事業及び在宅医療や生活習慣病対策などの予防医療等の充実を図る。 5 疾病：がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患 5 事業：救急医療、災害時における医療、へき地の医療、周産期医療 小児救急医療を含む小児医療		1 政策医療や予防医療の実施について へき地医療拠点病院として、国保診療所等への医師派遣を行った。（宮下、南会津病院） <table><tr><td></td><td>H 24</td><td>H 25</td><td>H 26</td></tr><tr><td>宮下病院</td><td>286 回</td><td>155 回</td><td>271 回</td></tr><tr><td>南会津病院</td><td>22 回</td><td>23 回</td><td>210 回</td></tr></table> 措置入院患者や民間病院では受入が難しい処遇困難患者等を積極的に受入れた。（矢吹病院） <table><tr><td></td><td>H 24</td><td>H 25</td><td>H 26</td></tr><tr><td>措置入院・処遇困難患者数</td><td>22 人</td><td>32 人</td><td>21 人</td></tr></table> 疾病予防や健康増進に向けた情報提供の場として、出前講座の実施や院内健康講座の開催、広報誌発行などに取り組んだ。 2 病院活性化による医療の質的向上について ケースワーカーや作業療法士、臨床心理士、看護師等で構成する医療チームを設置し、地域生活移行に向けた支援を行った。（矢吹病院） <table><tr><td></td><td>H 24</td><td>H 25</td><td>H 26</td></tr><tr><td>長期入院患者の地域生活移行人数</td><td>16 人</td><td>18 人</td><td>22 人</td></tr></table> 3 病院機能評価取得について 平成 27 年 2 月に認定の審査を受け、6 月に認定証を受領した。（矢吹病院） 平成 28 年度の受検に向け、課題や問題点の洗い出しや自己点検を行った。（宮下病院） 平成 27 年 12 月の認定更新審査に向け、各部署職員により構成する「病院機能評価受診プロジェクト」を立ち上げ、前回の Ver.6.0 及び今回受審する 3rdG Ver.1.1 による自己点検等に着手した。（南会津病院） 4 説明責任の発揮について 患者にとって分かりやすい内容となるよう、各種様式について見直しを行った。（宮下病院） 電子カルテを導入したことにより、過去の診療録を速やかに取り出せるようになったほか、画像を使って視覚的に説明できるようになるなど、患者さんへの情報開示が容易になった。（南会津病院） 病床機能評価の審査を通じて、患者さんが理解できるような説明をしているか、身体的拘束が適切か等について専門家によるチェックを受けたことにより、これまでの取組みを見つめ直すきっかけとすることができた。（矢吹病院）					H 24	H 25	H 26	宮下病院	286 回	155 回	271 回	南会津病院	22 回	23 回	210 回		H 24	H 25	H 26	措置入院・処遇困難患者数	22 人	32 人	21 人		H 24	H 25	H 26	長期入院患者の地域生活移行人数	16 人	18 人	22 人
	H 24	H 25	H 26																														
宮下病院	286 回	155 回	271 回																														
南会津病院	22 回	23 回	210 回																														
	H 24	H 25	H 26																														
措置入院・処遇困難患者数	22 人	32 人	21 人																														
	H 24	H 25	H 26																														
長期入院患者の地域生活移行人数	16 人	18 人	22 人																														

目標 2	患者サービスの向上	目標値達成状況		取組状況評価																																	
		【 5 】	目標値を上回った	【 4 】	積極的に行われている																																
<p>〔 実践的な接遇能力向上 〕</p> <p>患者さんの立場になって考え、思いやりをもって接することができる職員を目指し、座学だけではなく、ロールプレイングを取り入れるなど、実践的な接遇研修会を定期的に行い、職員の接遇能力の向上を図る。</p> <p>〔 病院全体の業務改善 〕</p> <p>患者さんに良質なサービスを提供できるよう、待ち時間の短縮を始めとする業務改善に職員が一丸となって取り組む。</p>		<p>1 接遇能力向上について</p> <p>患者サービス向上委員会を定期的に行い、接遇研修等を実施した。なお、平成 27 年度からは、接遇力向上の核となる職員を養成するため、外部の接遇マナー講座に職員を派遣（各病院より 2 名）している。</p> <table><tr><td></td><td colspan="3">主な研修内容</td></tr><tr><td>矢吹病院</td><td colspan="3">ホテルはまつの職員を講師に迎えた接遇研修</td></tr><tr><td>宮下病院</td><td colspan="3">患者接遇の基本とコミュニケーション</td></tr><tr><td>南会津病院</td><td colspan="3">医療スタッフの接遇マニュアル（DVD 研修）</td></tr></table> <p>患者さんの病院への評価や満足度を把握し、その結果を今後の病院運営に反映するため、患者満足度調査を実施した。</p> <p>〔 患者満足度調査結果 〕</p> <table><tr><td></td><td>H24</td><td>H25</td><td>H26</td></tr><tr><td>矢吹病院</td><td>63.0%</td><td>63.5%</td><td>70.6%</td></tr><tr><td>宮下病院</td><td>69.4%</td><td>83.8%</td><td>71.6%</td></tr><tr><td>南会津病院</td><td>82.2%</td><td>80.6%</td><td>88.7%</td></tr></table>					主な研修内容			矢吹病院	ホテルはまつの職員を講師に迎えた接遇研修			宮下病院	患者接遇の基本とコミュニケーション			南会津病院	医療スタッフの接遇マニュアル（DVD 研修）				H24	H25	H26	矢吹病院	63.0%	63.5%	70.6%	宮下病院	69.4%	83.8%	71.6%	南会津病院	82.2%	80.6%	88.7%
			主な研修内容																																		
		矢吹病院	ホテルはまつの職員を講師に迎えた接遇研修																																		
		宮下病院	患者接遇の基本とコミュニケーション																																		
		南会津病院	医療スタッフの接遇マニュアル（DVD 研修）																																		
			H24	H25	H26																																
		矢吹病院	63.0%	63.5%	70.6%																																
		宮下病院	69.4%	83.8%	71.6%																																
		南会津病院	82.2%	80.6%	88.7%																																
		<p>2 業務改善について</p> <p>予約制を導入し、待ち時間の短縮に努めた。</p> <p>無料送迎バスを運行し、患者さんの通院の利便性の向上を図った。（矢吹、宮下病院）</p> <p>〔 無料送迎バス利用者数 〕</p> <table><tr><td></td><td>H24</td><td>H25</td><td>H26</td></tr><tr><td>矢吹病院</td><td>5,401 人</td><td>6,136 人</td><td>5,597 人</td></tr><tr><td>宮下病院</td><td>3,822 人</td><td>3,982 人</td><td>4,355 人</td></tr></table> <p>待ち時間を活用した院内健康教室の開催や院内ギャラリーにおける地域住民の作品の展示などを通じて、待ち時間に対する苦痛軽減に努めた。（宮下、南会津病院）</p> <p>職員提案制度を導入するなど、常に職員一人ひとりが改善・改革を実践する組織風土の醸成に努めた。</p> <p>共通目標指標</p> <div><div>患者満足度</div><div><div>H26目標 75%以上</div><div>H26実績 77.0%</div><div>H27目標 79%以上</div><div>H28目標 83%以上</div></div></div>					H24	H25	H26	矢吹病院	5,401 人	6,136 人	5,597 人	宮下病院	3,822 人	3,982 人	4,355 人																				
	H24	H25	H26																																		
矢吹病院	5,401 人	6,136 人	5,597 人																																		
宮下病院	3,822 人	3,982 人	4,355 人																																		

目標１：医療の質の向上（各病院の取組状況）

取組評価欄の（ ）内は前年度自己評価

番号	取組機関	アクションプラン	取組内容	平成 26 年度取組状況	取組評価						
1	共通取組	病院機能評価の認証更新	公益財団法人日本医療機能評価機構が中立的な立場で医療機関の機能を評価・審査する病院機能評価の認証更新を図る。	平成 27 年 2 月に認定の審査を受け、4 月に審査の中間的報告を受領した。（矢吹病院） 平成 28 年の受検に向けて、課題や問題点の洗い出しを行った。（宮下病院） 平成 27 年 12 月の認定更新に向け、院内各部署職員により構成する「病院機能評価受診プロジェクト」を立ち上げ、前回の Ver.6.0 及び今回受審する 3rdG Ver.1.1 による自己点検等に着手した。（南会津病院） 〔再掲 P8〕	5 (5)						
2		インフォームド・コンセントの充実	診断内容、治療計画等について十分説明し、患者さんが理解、納得した上で治療行為を選択していくインフォームド・コンセントの充実を図る。	患者にとって分かりやすい内容となるよう、各種様式について見直しを行った。（宮下病院） 電子カルテを導入したことにより、過去の診療録を速やかに取り出せるようになったほか、画像を使って視覚的に説明できるようになるなど、患者さんへの情報開示が容易になった。（南会津病院） 病床機能評価の審査を通じて、患者さんが理解できるような説明をしているか、身体的拘束が適切か等について専門家によるチェックを受けたことにより、これまでの取組みを見つめ直すきっかけとすることができた。（矢吹病院） 〔再掲 P8〕	4 (4)						
3	矢吹病院	アウトリーチ型医療を前提とする訪問看護の充実・実施	退院後の地域生活支援を強化するため、包括型地域生活支援プログラム（ACT）を含め、アウトリーチ(訪問支援)の実施に向けた検討を行うとともに、訪問看護の充実を図る。	外来治療の一環として訪問看護を実施した。 〔 訪問看護 1 日平均患者数 〕 <table><tr><td>H24</td><td>H25</td><td>H26</td></tr><tr><td>7.3 人 / 日</td><td>7.2 人 / 日</td><td>8.8 人 / 日</td></tr></table> 平成 26 年度にアウトリーチのプロジェクトチーム（医師 1 名、看護師 4 名、作業療法士 1 名、精神保健福祉士 1 名、事務 1 名）を立ち上げ、院内勉強会の開催や相馬広域こころのケアセンターなごみ・訪問看護ステーションなごみにおける実地研修、関係機関への説明・挨拶まわりを行ったほか、試行的にアウトリーチチームによる支援（訪問支援 7 件・相談支援 8 件）を行った。	H24	H25	H26	7.3 人 / 日	7.2 人 / 日	8.8 人 / 日	5 (5)
H24		H25	H26								
7.3 人 / 日		7.2 人 / 日	8.8 人 / 日								
4	デイケア（精神科リハビリテーション）の充実・実施	グループ活動等を通じて、生活のリズムを整え、経験を積み重ね自信につなげて、生活の自立を目指すとともに、日常生活上の技能の習得や就業相談など個人のニーズに合わせた活動計画を立て、個々の目標実現を支援する。	登録者数は 48 人と前年度とほぼ変わらないものの、次のステージの訓練のため病院以外の施設を利用する患者が出てきたこと、集団から個人のデイケアに移行してきたことなどがあり、延べ人数で減少した。 引き続き、患者ニーズにあったリハビリテーションメニューを検討するなど、患者数の確保に努めていくこととする。 〔 デイケア 1 日平均患者数 〕 <table><tr><td>H24</td><td>H25</td><td>H26</td></tr><tr><td>17.6 人 / 日</td><td>15.1 人 / 日</td><td>12.3 人 / 日</td></tr></table>	H24	H25	H26	17.6 人 / 日	15.1 人 / 日	12.3 人 / 日	3 (4)	
H24	H25	H26									
17.6 人 / 日	15.1 人 / 日	12.3 人 / 日									
5	医療観察法に基づく指定入院医療機関としての指定検討	触法精神障害者の専門的入院治療と社会復帰を支援する医療体制の充実に向けて検討する。	平成 22 年度より指定入院医療機関としての整備検討を開始し、平成 24 年度に矢吹町へ計画の説明を行ったが、矢吹町議会全員協議会を中心に反対意見があり事業進捗は停滞した。 その後、医療観察法病棟の病床数を 17 床から 8 床程度に縮小したうえで、平成 26 年 7 月に改めて町へ説明を行ったが、再び反対意見が出された。 4 今後は地域住民との交流イベントなどを通じて、精神疾患に対する地域住民の理解と協力を広げていきながら、本計画の実現を目指していくこととする。 〔再掲 P4〕	4 (4)							
6	児童思春期外来の実施	児童思春期に特有な疾患や症状を対象に専門的な治療を行うため、児童思春期外来を実施する。	県立医科大学との連携の下、児童思春期外来の診療を通年で実施した。 〔 児童思春期外来患者数 〕 <table><tr><td>H24</td><td>H25</td><td>H26</td></tr><tr><td>426 人</td><td>576 人</td><td>722 人</td></tr></table>	H24	H25	H26	426 人	576 人	722 人	4 (-)	
H24	H25	H26									
426 人	576 人	722 人									

行動計画取組状況（基本方針１：良質な医療サービスの提供（患者さんの視点））

7	矢吹病院	内科診療の実施及び広報・PR	内科診療を通年で実施するとともに、診療内容等の広報・PR活動を行い、地域における認知度を高める。	ホームページや広報誌、矢吹病院まつり（診療相談を実施）等を通じて、内科診療のPRを行った。 [内科患者数] <table><tr><td>H24</td><td>H25</td><td>H26</td></tr><tr><td>644人</td><td>758人</td><td>805人</td></tr></table>	H24	H25	H26	644人	758人	805人	3 (-)									
H24	H25	H26																		
644人	758人	805人																		
8		病棟再編の実施及び病棟の機能分化	入院患者の動向等を踏まえ、病棟再編を実施するとともに、病棟単位で機能分化を検討する。併せて、地域への丁寧な説明を行い理解を得ながら、医療観察法病棟の整備を検討する。	平成27年4月1日付けで、4病棟体制から3病棟体制に再編するとともに、職員の再配置を行うなど医療の質の更なる向上に努めた。また、平成27年度に機能別病棟再編を実施する。 [再編前]閉鎖及び開放病棟 各2 [再編後]急性期病棟、重症・合併症、社会復帰病棟 各1	4 (-)															
9	宮下病院	外来診療科等の充実	高齢化が急速に進展する地域特性に対応した医療（整形外科,精神科,耳鼻咽喉科,皮膚科、循環器内科）を継続して提供するとともに、理学療法室の充実を図る。	県立医科大学等との連携を強化しながら、高齢者に多い疾患に対応した医療の提供に努めた。〔再掲P5〕	4 (4)															
10		訪問診療・訪問看護の実施による在宅医療への支援	通院が困難な患者に対して、定期的に訪問診療及び訪問看護を行い、転倒や寝たきり、褥瘡の予防、栄養状態の管理など、在宅で療養が図れるように医療サービスを提供する。	地域の方々が安心して在宅療養していただけるように訪問診療・訪問看護を実施した。〔再掲P5〕	4 (4)															
11		健康診断及び人間ドック事業、胃カメラ等検査事業の充実	全国健康保険協会や地元自治体の健康診断・人間ドック等の受託に努めるほか、胃カメラ及び大腸カメラ検査、CT胸部検査を積極的に実施する。	地域の医療機関や介護施設等とも連携しながら、健康診断、人間ドックによる疾病の予防、早期発見・治療等を通じて、地域住民の健康増進に取り組んだ。 <table><tr><td>項目</td><td>H24</td><td>H25</td><td>H26</td></tr><tr><td>健康診断実施人数</td><td>273人</td><td>229人</td><td>233人</td></tr><tr><td>人間ドック実施人数</td><td>19人</td><td>18人</td><td>3人</td></tr><tr><td>CT件数</td><td>731件</td><td>782件</td><td>905件</td></tr></table>	項目	H24	H25	H26	健康診断実施人数	273人	229人	233人	人間ドック実施人数	19人	18人	3人	CT件数	731件	782件	905件
項目	H24	H25	H26																	
健康診断実施人数	273人	229人	233人																	
人間ドック実施人数	19人	18人	3人																	
CT件数	731件	782件	905件																	
12		院内健康教室の開催	院内において健康教室を開催し、健康への関心を高め予防医療を推進するとともに、外来待ち時間の対策を図る。	地域住民の健康維持・疾病予防に役立ててもらうため、院内健康教室を開催した。 <table><tr><td>項目</td><td>H24</td><td>H25</td><td>H26</td></tr><tr><td>院内健康教室</td><td>13回・99人</td><td>22回・148人</td><td>12回・93人</td></tr></table>	項目	H24	H25	H26	院内健康教室	13回・99人	22回・148人	12回・93人	4 (-)							
項目	H24	H25	H26																	
院内健康教室	13回・99人	22回・148人	12回・93人																	
13	宮下病院 南会津病院	地域医療連携ネットワークシステムの構築	福島県会津・南会津地域医療連携ネットワーク協議会における検討結果を踏まえ、会津地域の医療機関とネットワーク上での診療情報の共有化を図りながら、地域連携を促進する。	福島県会津・南会津地域医療連携ネットワーク協議会を2回開催（事務局は竹田総合病院）し、連携実績や今後の方針等について参加予定医療機関で情報共有を行った。 地域医療連携ネットワークシステム（通称「会津さすけねット」）については、平成26年3月より竹田総合病院と南会津病院との間で運用を開始している。 今後、会津医療センターや会津中央病院等についても、同ネットワークに参加する予定。	4 (-)															
14	南会津病院	健康診断・人間ドック事業の充実	地域の要望に対応するため、健康診断・人間ドック事業を実施する。	受診者が減少する冬場に割引キャンペーンを実施するなど、受診者確保に努めた。 <table><tr><td>項目</td><td>H24</td><td>H25</td><td>H26</td></tr><tr><td>健康診断実施人数</td><td>633人</td><td>577人</td><td>595人</td></tr><tr><td>人間ドック実施人数</td><td>165人</td><td>197人</td><td>179人</td></tr></table>	項目	H24	H25	H26	健康診断実施人数	633人	577人	595人	人間ドック実施人数	165人	197人	179人	5 (5)			
項目	H24	H25	H26																	
健康診断実施人数	633人	577人	595人																	
人間ドック実施人数	165人	197人	179人																	
15	南会津病院 本局	透析患者の受入体制の確保	専門職員の確保・配置を行うなど、南会津病院における透析患者の受入体制の強化を図る。	平成26年2月に臨床工学技師1名を採用するなど、透析患者の受入体制の強化に努めた。 <table><tr><td>項目</td><td>H24</td><td>H25</td><td>H26</td></tr><tr><td>透析実患者数</td><td>40人</td><td>42人</td><td>37人</td></tr></table>	項目	H24	H25	H26	透析実患者数	40人	42人	37人	4 (-)							
項目	H24	H25	H26																	
透析実患者数	40人	42人	37人																	

目標２：患者サービスの向上（各病院の取組状況）

取組評価欄の（ ）内は前年度自己評価

番号	取組機関	アクションプラン	取組内容	平成 26 年度取組状況				取組評価
16	共通取組	患者アンケート調査や接遇向上委員会による接遇の向上	患者アンケート調査等により、患者さんのニーズや意見を把握できる体制を整えるとともに、定期的に接遇向上委員会を開催するなど、接遇サービスの向上を図る。	接遇サービスの向上を図るため、外部講師を招いた院内研修を開催した。				4 (4)
病院名				取組状況				
矢吹病院				ホテルはまつのマネージャーを講師とし、「接遇とは」をテーマに研修を 3 回開催した。(参加率 65.8%)				
宮下病院				接遇サービスの向上を図るため、接遇研修を 3 回開催した。				
南会津病院				医療スタッフの接遇マニュアルを基に研修を行った。(Ｄ Ｖ Ｄ 研修)				
	本局	接遇力向上の核となる職員を養成するため、平成 27 年度より外部の接遇マナー講座に職員を派遣 (各病院より 2 名) している。						
17		外来待ち時間の短縮	業務処理の合理化等により、外来待ち時間の短縮を図る。	予約患者の割合を高めるとともに、医師事務補助者を配置し医師の負担軽減を図りながら、外来待ち時間の短縮に努めた。(矢吹病院) 混雑する整形外科や内科について予約制を導入した。(宮下病院) 時間のロスをなくすため、特に混雑する整形外科の予約時間の単位について見直しを行った結果、平成 27 年 9 月より現行の 1 時間単位から 30 分単位へ短縮することが決まった。(南会津病院)				3 (3)
18		診療時間の拡充の検討	患者さんの利便性を考慮し、外来診療時間の拡充を検討する。	患者アンケート調査に「診療日、診察時間帯」の項目を追加し調査した結果、一部の患者さんより午後の外来対応への要望があったことから、引き続き患者ニーズの把握に努めるとともに、診療時間の拡充について検討を進めていく。				4 (-)
19	矢吹病院	オーダリングシステムの導入検討	伝票搬送の軽減などの業務の効率化や待ち時間の短縮等を図るため、オーダリングシステムの導入について検討する。	電子カルテの導入の是非も含め、今後検討を行う予定。				3 (-)
20		病棟や外来待合室の療養環境の向上	患者さんに快適に過ごしてもらうため、病棟や外来待合室の療養環境の向上を図る。	病棟や外来待合室に四季折々の飾り付けを行った。 作業療法の利用者の作品を待合室に展示した。				3 (-)
21	宮下病院	無料送迎バスの効率的な運行	外来患者の利便性の向上を図るため、無料送迎バスの効率的な運行に努める。	外来患者の利便性の向上を図るため、無料送迎バスを運行している。 引き続き、地域からの要望や利用状況を踏まえながら、行き先や運行時刻の見直しを行うなど、効率的な運行に努めていく。				5 (5)
項目				H 24	H 25	H 26		
迎え乗車数				1,954 人 (1 日平均 8.8 人)	2,077 人 (1 日平均 9.3 人)	2,228 人 (1 日平均 9.1 人)		
送り乗車数				1,868 人 (1 日平均 8.4 人)	1,905 人 (1 日平均 8.5 人)	2,127 人 (1 日平均 8.7 人)		
22		院内イベントの開催	入院患者や来院者が快適で安らぎのある時を過ごしていただけるよう、四季折々の飾り付けを行うとともに、院内コンサートを開催するなど、「癒しのある空間」の提供に努める。	院内飾り付け 7 月：七夕飾り 9 月：お月見 12 月：クリスマス 2 ～ 3 月：ひな祭り 院内イベント 5 月：看護の日イベント(約 20 名) 7 月：七夕コンサート(約 50 名) 12 月：クリスマスコンサート(約 50 名) 3 月：ひな祭りコンサート(約 40 名)				5 (5)
23	南会津病院	院内コンサートの開催	院内コンサートを開催するなど、「癒しのある空間」の提供に努める。	福島県庁混声合唱団「きびたき」を招き、院内コンサートを開催した。来場者は、患者さんやそのご家族、地域の方々など 105 名にのぼり、これまで開催した中で、最多となった。コンサートは終始和やかな雰囲気の中、地域の方々へ病院の存在をアピールするイベントに仕上がった。				5 (-)

基本方針２：収益確保と費用削減による健全な病院経営（健全な病院経営の視点）

【改革プラン方針】		平成 26 年度取組状況及び自己評価																																								
良質で安全な医療を継続的に提供していくためには、健全な病院経営の確立が前提であることから、医師確保をはじめ、経営基盤の確立に向けた多様な取組を行う。		目標値達成状況評価		取組状況評価																																						
目標 1	収益の確保	【 5 】	目標値を上回った	【 4 】	積極的に行われている																																					
[医療機能の充実] 医師確保による医療機能の充実を図るとともに、新たな施設基準の取得や適切な診療報酬の確保（査定率の低減等）などに取り組む。 患者数の増加を図るため、健康診断の充実や特定保健指導の取組を通じて、生活習慣病対策など予防医療に力を入れるとともに、透析などの特殊外来や訪問診療・訪問看護の充実に取り組む。 [機械備品等の整備] 質の高い医療の提供や収益確保を図るため、先進医療機器の計画的な整備・更新を行う。		1 医療機能の充実 県立医科大学や会津医療センターからの支援を受けながら、高齢者に多い疾患に対応する医療の提供を行った。 <table><tr><td></td><td colspan="3">診療科</td></tr><tr><td>宮下病院</td><td colspan="3">常 勤：内科 4 名 非 常 勤：内科 2 名/循環器内科 1 名/整形外科 3 名/精神科 3 名/耳鼻咽喉科 1 名/ 皮膚科 1 名</td></tr><tr><td>南会津病院</td><td colspan="3">常 勤：内科 5 名/外科 2 名/整形外科 3 名/小児科 1 名 非 常 勤：内科 2 名/外科 1 名/整形外科 3 名/産婦人科 3 名/小児科 2 名/眼科 3 名/ 耳鼻咽喉科 3 名/皮膚科 2 名/泌尿器科 1 名/神経精神科 3 名/漢方内科 2 名</td></tr></table> 査定減の項目と金額を会議で周知するとともに、適正に請求できる案件については再審査請求を行うなど、査定率の減少に努めた。 地域の方々が安心して療養生活を続けられるように訪問診療・訪問看護を実施した。 (宮下病院)〔再掲 P5〕 2 機械備品等の整備 医療機能の強化を図るため、高度医療、先進医療等に対応した医療機器等を整備した。 【平成 26 年度に整備した主な医療機器等】 <table><tr><td></td><td>品名</td><td>金額(千円)</td><td>概要</td></tr><tr><td rowspan="2">矢吹病院</td><td>臨床化学自動分析装置・検査システム</td><td>18,846</td><td>一般生化学や各酵素などの各種検査項目を測定。</td></tr><tr><td>デジタル X 線画像診断装置</td><td>10,908</td><td>デジタル処理により高画質な画像出力が可能。現像液等の産業廃棄物は発生しない。</td></tr><tr><td rowspan="2">宮下病院</td><td>臨床検査システム</td><td>24,948</td><td>血液や尿検査など複数の分析装置を一括管理する装置。</td></tr><tr><td>医用テレメータシステム</td><td>4,320</td><td>心電図モニターを離れたところから監視するための無線発信装置。</td></tr><tr><td rowspan="2">南会津病院</td><td>移動用デジタル X 線システム</td><td>14,990</td><td>デジタル処理により高画質な画像出力が可能。現像液等の産業廃棄物は発生しない。</td></tr><tr><td>全自動錠剤分包機</td><td>12,917</td><td>散薬を分割分包する機械。</td></tr></table>					診療科			宮下病院	常 勤：内科 4 名 非 常 勤：内科 2 名/循環器内科 1 名/整形外科 3 名/精神科 3 名/耳鼻咽喉科 1 名/ 皮膚科 1 名			南会津病院	常 勤：内科 5 名/外科 2 名/整形外科 3 名/小児科 1 名 非 常 勤：内科 2 名/外科 1 名/整形外科 3 名/産婦人科 3 名/小児科 2 名/眼科 3 名/ 耳鼻咽喉科 3 名/皮膚科 2 名/泌尿器科 1 名/神経精神科 3 名/漢方内科 2 名				品名	金額(千円)	概要	矢吹病院	臨床化学自動分析装置・検査システム	18,846	一般生化学や各酵素などの各種検査項目を測定。	デジタル X 線画像診断装置	10,908	デジタル処理により高画質な画像出力が可能。現像液等の産業廃棄物は発生しない。	宮下病院	臨床検査システム	24,948	血液や尿検査など複数の分析装置を一括管理する装置。	医用テレメータシステム	4,320	心電図モニターを離れたところから監視するための無線発信装置。	南会津病院	移動用デジタル X 線システム	14,990	デジタル処理により高画質な画像出力が可能。現像液等の産業廃棄物は発生しない。	全自動錠剤分包機	12,917	散薬を分割分包する機械。
	診療科																																									
宮下病院	常 勤：内科 4 名 非 常 勤：内科 2 名/循環器内科 1 名/整形外科 3 名/精神科 3 名/耳鼻咽喉科 1 名/ 皮膚科 1 名																																									
南会津病院	常 勤：内科 5 名/外科 2 名/整形外科 3 名/小児科 1 名 非 常 勤：内科 2 名/外科 1 名/整形外科 3 名/産婦人科 3 名/小児科 2 名/眼科 3 名/ 耳鼻咽喉科 3 名/皮膚科 2 名/泌尿器科 1 名/神経精神科 3 名/漢方内科 2 名																																									
	品名	金額(千円)	概要																																							
矢吹病院	臨床化学自動分析装置・検査システム	18,846	一般生化学や各酵素などの各種検査項目を測定。																																							
	デジタル X 線画像診断装置	10,908	デジタル処理により高画質な画像出力が可能。現像液等の産業廃棄物は発生しない。																																							
宮下病院	臨床検査システム	24,948	血液や尿検査など複数の分析装置を一括管理する装置。																																							
	医用テレメータシステム	4,320	心電図モニターを離れたところから監視するための無線発信装置。																																							
南会津病院	移動用デジタル X 線システム	14,990	デジタル処理により高画質な画像出力が可能。現像液等の産業廃棄物は発生しない。																																							
	全自動錠剤分包機	12,917	散薬を分割分包する機械。																																							

〔外部意見の導入〕

多様な取組みにより経営基盤の確立を図るため、病院経営の専門家など外部の方の意見を積極的に取り入れる。

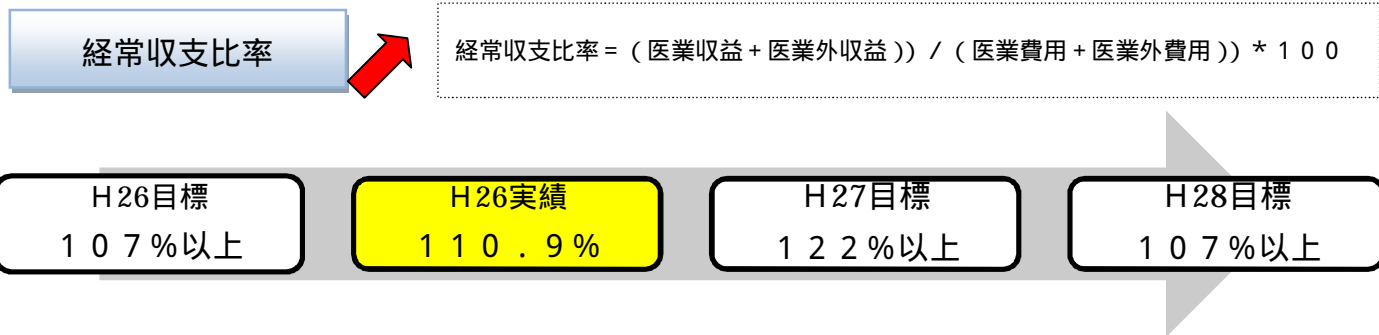
3 外部意見の導入

平成 26 年 10 月 29 日に県立病院事業経営評価委員会を開催し、平成 25 年度の取組状況及びプラン総括についてご審議いただいた結果、「概ね妥当」との評価をいただいた。当該委員会からの主な助言については、次表のとおり。

【主な助言項目】

	内容
2025 年を見据えた医療提供体制の構築について	平成 26 年 6 月に公布・施行された医療介護総合確保推進法では、病床機能報告制度と、それを基に都道府県で策定する地域医療ビジョンに加え、更なる機能分化を推進するため、県と医療関係者、医療保険者等の関係者との協議の場を設けることが盛り込まれていることから、各県立病院においては、今後予定されている協議を見据え、地域の状況や他の医療機関の状況等を踏まえながら、自院の目指すべき方向性等を整理しておく必要がある。
医師・看護師等の確保について	医師や看護師をはじめとした医療従事者の確保を図る観点から、他職種（医師、看護師、薬剤師等）との役割分担の促進や医師事務作業補助者の配置、勤務体制の工夫など、勤務環境改善に向けた取り組みを推進するとともに、職員のキャリア形成支援を行うなど、働きがいのある職場づくりに努める必要がある。

共通目標指標



目標 2	未収金の発生防止と早期回収の強化	目標値達成状況		取組状況																																					
		【 ５ 】	目標値を上回った	【 ４ 】	積極的に行われている																																				
<p>〔 未収金発生の未然防止 〕</p> <p>未収金対策に当たっては、発生をいかに未然に防止するかが重要であるため、未収金を発生させないための仕組みづくりを行うとともに、未収金「回収」から「未然防止」への意識改革に取り組む。</p> <p>〔 未収金マニュアルの活用 〕</p> <p>患者負担の公平性等を確保するため、県立病院医業未収金マニュアルを活用し、未収金発生の未然防止と発生直後の早期回収に努める。</p> <p>〔 医療相談の実施 〕</p> <p>新たな未収金発生の抑制を図るため、高額療養費制度などの周知徹底や医療費に関する面談を行うなど、全職員の共通認識の下で医療相談を積極的に実施する。</p>		<p>1 未収金発生の未然防止</p> <p>患者さんやその家族等に対し、入院時説明や制度紹介（減額の説明等）、クレジットカードの利用紹介等を行った。</p> <p>2 未収金マニュアルの活用</p> <p>県立病院事業未収金マニュアル及び福島県立病院医業未収金支払督促事務取扱指針に基づく処理（電話や文書による督促、自宅訪問、法的手段など）を徹底し、未収金の発生防止及び収納促進に取り組んだ。</p> <p>3 医療相談の実施</p> <p>高額療養費限度額適用制度の活用を推進するとともに、医療費の支払いに関する個別の相談を実施した。</p>																																							
		<p>〔 過年度医業未収金残高状況 〕 （単位：千円）</p> <table><tr><td></td><td>H 24</td><td>H 25</td><td>H 26</td></tr><tr><td>矢吹病院</td><td>2,167</td><td>4,899</td><td>2,334</td></tr><tr><td>旧喜多方病院</td><td>74</td><td>-</td><td>-</td></tr><tr><td>旧会津総合病院</td><td>38,422</td><td>37,840</td><td>-</td></tr><tr><td>宮下病院</td><td>446</td><td>547</td><td>451</td></tr><tr><td>南会津病院</td><td>11,949</td><td>10,776</td><td>12,486</td></tr><tr><td>大野病院</td><td>12,260</td><td>9,679</td><td>8,159</td></tr><tr><td>病院局</td><td>5,808</td><td>5,610</td><td>33,678</td></tr><tr><td>合 計</td><td>71,126</td><td>69,351</td><td>57,108</td></tr></table>					H 24	H 25	H 26	矢吹病院	2,167	4,899	2,334	旧喜多方病院	74	-	-	旧会津総合病院	38,422	37,840	-	宮下病院	446	547	451	南会津病院	11,949	10,776	12,486	大野病院	12,260	9,679	8,159	病院局	5,808	5,610	33,678	合 計	71,126	69,351	57,108
			H 24	H 25	H 26																																				
		矢吹病院	2,167	4,899	2,334																																				
		旧喜多方病院	74	-	-																																				
		旧会津総合病院	38,422	37,840	-																																				
		宮下病院	446	547	451																																				
		南会津病院	11,949	10,776	12,486																																				
		大野病院	12,260	9,679	8,159																																				
		病院局	5,808	5,610	33,678																																				
合 計	71,126	69,351	57,108																																						
<p>各年度 3 月 31 日現在 病院局は廃止病院分</p>																																									
<p>共通目標指標</p>																																									
<div>過年度未収金残高</div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									
<div></div>																																									

目標 3	費用の見直し	目標値達成状況		取組状況																			
		【 4 】	目標値を達成できた	【 3 】	取り組んでいる																		
<p>[人件費の抑制]</p> <p>更なる総人件費の抑制を図るため、給与費の抑制や、病棟・病床数の見直し、業務の効率化による職員配置の適正化、委託の推進などに取り組む。</p> <p>[診療材料・医薬品の費用削減]</p> <p>更なる材料費の削減を図るため、S P D（物品の一元管理・供給）を活用し、医薬品・診療材料費の共同購入や適正管理を徹底する。</p> <p>[日常的な経費節減]</p> <p>日常的な経費の削減を図るため、光熱水費の更なる節減や価格変動に応じた契約単価の見直しによる燃料費の削減、委託業務における業務内容の見直しなどを行う。</p>		1 人件費の抑制																					
		廃止した会津総合病院の人件費に係る費用負担が消え、前年度比 3 億 3,669 万 4 千円減の 36 億 4,265 万 1 千円となった。																					
		<table><tr><td></td><td>H 24</td><td>H 25</td><td>H 26</td></tr><tr><td>給与費</td><td>7,508,222 千円</td><td>3,979,345 千円</td><td>3,642,651 千円</td></tr><tr><td>うち退職手当除く</td><td>6,242,376 千円</td><td>3,629,350 千円</td><td>3,340,578 千円</td></tr><tr><td>正規職員数</td><td>667 人</td><td>372 人</td><td>352 人</td></tr></table>					H 24	H 25	H 26	給与費	7,508,222 千円	3,979,345 千円	3,642,651 千円	うち退職手当除く	6,242,376 千円	3,629,350 千円	3,340,578 千円	正規職員数	667 人	372 人	352 人		
			H 24	H 25	H 26																		
		給与費	7,508,222 千円	3,979,345 千円	3,642,651 千円																		
		うち退職手当除く	6,242,376 千円	3,629,350 千円	3,340,578 千円																		
		正規職員数	667 人	372 人	352 人																		
		2 診療材料・医薬品の費用削減																					
		S P Dを活用し、診療材料・医薬品等の 3 病院の共同購入や適正な在庫管理、採用品目の見直し、期限切れ等による廃棄ロスの防止に取り組んだ。																					
		廃止した会津総合病院の材料費に係る費用負担が消え、前年度比 2 億 3,765 万 3 千円減の 5 億 678 万 8 千円となった。																					
<table><tr><td></td><td>H 24</td><td>H 25</td><td>H 26</td></tr><tr><td>材料費</td><td>1,857,892 千円</td><td>744,441 千円</td><td>506,788 千円</td></tr><tr><td>うち薬品費</td><td>1,043,323 千円</td><td>388,800 千円</td><td>301,201 千円</td></tr><tr><td>うち診療材料費</td><td>729,791 千円</td><td>241,824 千円</td><td>161,813 千円</td></tr><tr><td>S P D効果</td><td>18,118 千円</td><td>5,794 千円</td><td>6,039 千円</td></tr></table>					H 24	H 25	H 26	材料費	1,857,892 千円	744,441 千円	506,788 千円	うち薬品費	1,043,323 千円	388,800 千円	301,201 千円	うち診療材料費	729,791 千円	241,824 千円	161,813 千円	S P D効果	18,118 千円	5,794 千円	6,039 千円
	H 24	H 25	H 26																				
材料費	1,857,892 千円	744,441 千円	506,788 千円																				
うち薬品費	1,043,323 千円	388,800 千円	301,201 千円																				
うち診療材料費	729,791 千円	241,824 千円	161,813 千円																				
S P D効果	18,118 千円	5,794 千円	6,039 千円																				
S P D効果 = 購入額削減額 - 委託額																							
3 日常的な経費削減																							
職員一人ひとりのコスト意識を徹底し、更なるコストの縮減を図った。																							
経費については、会津医療センターの整備に係る費用負担（準備室医師人件費等負担、移転経費など）が消え、前年度比 4 億 2,700 万 4 千円減の 7 億 1,548 万 8 千円となった。																							
<table><tr><td></td><td>H 24</td><td>H 25</td><td>H 26</td></tr><tr><td>経費</td><td>1,995,751 千円</td><td>1,142,492 千円</td><td>715,488 千円</td></tr><tr><td>うち消耗品費</td><td>44,156 千円</td><td>27,289 千円</td><td>20,697 千円</td></tr><tr><td>うち光熱水費</td><td>129,003 千円</td><td>68,977 千円</td><td>63,556 千円</td></tr><tr><td>うち委託料</td><td>847,441 千円</td><td>608,018 千円</td><td>371,490 千円</td></tr></table>					H 24	H 25	H 26	経費	1,995,751 千円	1,142,492 千円	715,488 千円	うち消耗品費	44,156 千円	27,289 千円	20,697 千円	うち光熱水費	129,003 千円	68,977 千円	63,556 千円	うち委託料	847,441 千円	608,018 千円	371,490 千円
	H 24	H 25	H 26																				
経費	1,995,751 千円	1,142,492 千円	715,488 千円																				
うち消耗品費	44,156 千円	27,289 千円	20,697 千円																				
うち光熱水費	129,003 千円	68,977 千円	63,556 千円																				
うち委託料	847,441 千円	608,018 千円	371,490 千円																				
		共通目標指標																					
		職員給与比率（一般病院）		職員給与比率 = 職員給与費 / 医業収益 * 1 0 0																			
		<div><div>H26目標 1 2 5 % 以下</div><div>H26実績 1 2 9 . 9 %</div><div>H27目標 1 2 5 % 以下</div><div>H28目標 1 2 5 % 以下</div></div>																					

目標１：収益の確保（各病院の取組状況）

取組評価欄の（ ）内は前年度自己評価

番号	取組機関	アクションプラン	取組内容	進捗状況	取組評価											
1	共通取組	施設基準の取得等による診療単価の向上	診療報酬改定に適切に対応しながら、施設基準、各種加算、指導料等を取得するなど、県立病院が有する診療機能に応じた診療報酬請求を徹底し、診療単価の向上につなげる。	精神科地域移行実施加算の取得に向けて検討を行った。（矢吹病院） 平成 26 年 8 月より胃瘻造設術及び胃瘻造設時嚥下機能評価加算を取得した。これにより、61 千円（1 件、6,070 点）の収益確保につながった。（宮下病院） 平成 26 年 4 月より胃瘻造設術及び人工肛門・人工膀胱増設術前処置加算を取得した。これにより、313 千円（7 件、31,250 点）の収益確保につながった。（南会津病院）	4 （ - ）											
2		行政財産の貸付	収益確保に向けて、自動販売機について行政財産の目的外使用から貸付への切替えを行うことを検討する。	県財産管理課で策定した「自動販売機の設置に関する行政財産の貸付要綱」を踏まえ検討した結果、下記のとおり対応することとした。 <table><tr><td></td><td>検討結果</td><td>引き続き使用許可により対応する理由</td></tr><tr><td>矢吹病院</td><td>行政財産の使用許可で対応</td><td>対象となる自動販売機がないため</td></tr><tr><td>宮下病院</td><td>行政財産の使用許可で対応</td><td>自動販売機を設置する売店運営者からの意見を踏まえ、使用許可により対応することが妥当と判断したため</td></tr><tr><td>南会津病院</td><td>引き続き、導入の可否を検討</td><td>-</td></tr></table>		検討結果	引き続き使用許可により対応する理由	矢吹病院	行政財産の使用許可で対応	対象となる自動販売機がないため	宮下病院	行政財産の使用許可で対応	自動販売機を設置する売店運営者からの意見を踏まえ、使用許可により対応することが妥当と判断したため	南会津病院	引き続き、導入の可否を検討	-
	検討結果	引き続き使用許可により対応する理由														
矢吹病院	行政財産の使用許可で対応	対象となる自動販売機がないため														
宮下病院	行政財産の使用許可で対応	自動販売機を設置する売店運営者からの意見を踏まえ、使用許可により対応することが妥当と判断したため														
南会津病院	引き続き、導入の可否を検討	-														
3	矢吹病院	看護補助加算 1 の算定	看護補助加算 1 の算定を開始し、より高い入院基本料等加算の取得により、収益増を図る。	平成 20 年 11 月より「看護補助加算 2」から「看護補助加算 1」に上位ランクの届出を行い算定している。	5 （ 5 ）											
4		後発医薬品使用体制加算 2 の算定	後発医薬品の使用を促進し、後発医薬品使用体制加算 2 の取得を検討する。	薬事委員会において、使用薬品数の削減、ジェネリックへの変更の可否について検討を行った。引き続き、後発医薬品使用体制加算 2 を取得できるよう取り組んでいく。	3 （ - ）											
5		外来患者に対する精神科作業療法の実施	外来部門とOT部門において連携しながら、外来患者に対する精神科作業療法を実施する。	退院後の地域での生活を支援するため、平成 22 年度より精神科作業療法を実施している。 平成 26 年度の参加者は、前年度比 188 人増の 634 人となった。 〔外来の精神科作業療法患者数〕 <table><tr><td>H 24</td><td>H 25</td><td>H 26</td></tr><tr><td>451 人</td><td>446 人</td><td>634 人</td></tr></table>	H 24	H 25	H 26	451 人	446 人	634 人	5 （ 4 ）					
H 24		H 25	H 26													
451 人	446 人	634 人														
6	民間病院からの処遇困難患者の受入、ハード救急の受入の強化	処遇困難患者やハード救急の受入の強化を図る。	平成 27 年 4 月から病棟を 4 病棟体制から 3 病棟体制に再編し、病棟の男女混合化及び病棟の機能分化に取り組んだ。引き続き措置入院患者や応急入院、処遇困難患者の受入体制の充実強化を図っていく。 1 病棟は、トイレ改修工事終了後（平成 27 年 8 月～ 9 月）に男女混合化を実施する予定。	4 （ - ）												
7	矢吹病院	急性期精神医療の実施	精神科救急医療を含む、急性期医療を充実させる。	救急輪番対応日数は 85 日（夜間 70 日、休日 15 日）で、受診は前年度比 8 件増の 32 件、入院は前年度比 3 件増の 14 件、電話相談は前年度比 15 件増の 62 件の実績であった。〔再掲 P 4〕	4 （ - ）											
8		県外避難入院患者の県内移行及び受入	県保健福祉部で推進する「精神科病院入院患者地域移行マッチング事業」の相談窓口を院内に設置するとともに、県外避難入院患者の県内病院への移行を促進する。	県保健福祉部の事業である「精神科病院地域移行マッチング事業」の支援を継続し、平成 26 年度は前年度比 1 人増の 11 人の入院患者（処遇困難患者）を受け入れた。 〔精神科病院地域移行マッチング事業受入患者数〕 <table><tr><td>H 24</td><td>H 25</td><td>H 26</td></tr><tr><td>- 件</td><td>10 人</td><td>11 人</td></tr></table>	H 24	H 25	H 26	- 件	10 人	11 人	4 （ - ）					
H 24	H 25	H 26														
- 件	10 人	11 人														

行動計画取組状況（基本方針２：収益確保と費用削減による健全な病院経営（健全な病院経営の視点））

9	宮下病院	訪問診療の充実による 外来患者の確保	訪問診療等の充実により、患者サービスの向上 や外来患者の確保を図る。	家庭内介護力に依存できる世帯の減少等により、平成 26 年度は前年度比 7 件減の 77 件となった。 <table><tr><td></td><td>H 24</td><td>H 25</td><td>H 26</td></tr><tr><td>訪問診療の件数</td><td>121 件</td><td>84 件</td><td>77 件</td></tr><tr><td>外来の延患者数</td><td>16,107 人</td><td>15,013 人</td><td>15,276 人</td></tr><tr><td>外来の新患者数</td><td>1,298 人</td><td>1,077 人</td><td>1,258 人</td></tr></table>		H 24	H 25	H 26	訪問診療の件数	121 件	84 件	77 件	外来の延患者数	16,107 人	15,013 人	15,276 人	外来の新患者数	1,298 人	1,077 人	1,258 人	3 (3)
	H 24	H 25	H 26																		
訪問診療の件数	121 件	84 件	77 件																		
外来の延患者数	16,107 人	15,013 人	15,276 人																		
外来の新患者数	1,298 人	1,077 人	1,258 人																		
10	南会津病院	透析医療の実施	南会津地域唯一の透析設備を持つ病院として、 引き続き透析医療を実施する。	平成 26 年 2 月に臨床工学技師 1 名を採用するなど、透析患者の受入体制の強化に努めた。〔再掲 P 11〕 〔透析実患者数〕 <table><tr><td>H 24</td><td>H 25</td><td>H 26</td></tr><tr><td>40 人</td><td>42 人</td><td>37 人</td></tr></table>	H 24	H 25	H 26	40 人	42 人	37 人	3 (4)										
H 24	H 25	H 26																			
40 人	42 人	37 人																			
11	病院局	県立病院収益確保プロ ジェクトの実施	診療報酬制度改定や D P C 導入への対応、地域 連携の強化による患者確保などに向けた対策を講 じるため、経営改善に向けて組織されている病院 経営検討会に、実務担当者レベルのメンバーを加 え発展させ、定期的に部門横断的な検討を行い、 具体的に取り組む。	平成 26 年 8 月 1 日に県立病院と病院局との連絡会議を開催し、各病院の経営状況や課題等について意見 交換や情報共有を行った。	4 (4)																
12		未利用財産の売却	病院事業財産を活用することにより収益確保を 図るため、公舎跡地等未利用財産の売却を進める。	未利用財産の購入希望者を募集したものの、売却には至らなかった。	3 (3)																
13		外部意見による経営評 価	県立病院事業の経営改善に向けた取組状況につ いて、有識者で構成される第三者機関である県立 病院経営評価委員会の評価を受けるなど、多様な 意見を取り入れながら一層の経営健全化を図る。	平成 26 年 10 月 29 日に県立病院事業経営評価委員会を開催し、平成 25 年度の取組状況及びプラン総括に ついてご審議いただいた結果、「概ね妥当」との評価をいただいた。〔再掲 P 14〕	4 (4)																

目標 2：未収金の発生防止と早期回収の強化（各病院の取組状況）

取組評価欄の（ ）内は前年度自己評価

番号	取組機関	アクションプラン	取組内容	進捗状況	取組評価										
14	共通取組	未収金の発生防止と早期回収の強化	医療相談室等と連携しながら、未収金となるおそれのある患者に早期に接触し未収金の発生を防止する。 未収金については、定期的に文書による納付依頼や督促、電話や訪問による納付交渉等を行い早期回収に努める。	窓口との連携や電話督促、催告状の送付などを行い、未収金の回収に努めた。 <table><tr><td></td><td>実施状況</td></tr><tr><td>矢吹病院</td><td>・窓口との連携や訪問督促を強化した。回収実績は以下のとおり。 （22年度分）6万4,450円のうち、1万5千円回収 （23年度分）130万3,340円のうち、115万9,753円を回収 （24年度分）338万9,920円のうち、280万8,554円を回収</td></tr><tr><td>宮下病院</td><td>・電話による督促、督促状・催告状の送付などを実施した。</td></tr><tr><td>南会津病院</td><td>・医療費が高額となる見込みの患者については、医療相談員が高額医療費事前申請制度等の説明を行うなど、未収金の発生防止に努めた。 ・医療圏外患者が増えるゴールデンウィークと年末年始については、委託職員による窓口会計業務を行い、出来る限り受診当日の収納に努めた。 ・納入期限後原則2ヶ月以内に督促状を送付し、それでも納付されない場合は催告状(年3回)送付や出張徴収(年2回)を実施した。</td></tr><tr><td>本局</td><td>・未収金徴収嘱託員2名を配置し、会津総合病院や喜多方病院など廃止した県立病院の未収金徴収を行った。</td></tr></table>		実施状況	矢吹病院	・窓口との連携や訪問督促を強化した。回収実績は以下のとおり。 （22年度分）6万4,450円のうち、1万5千円回収 （23年度分）130万3,340円のうち、115万9,753円を回収 （24年度分）338万9,920円のうち、280万8,554円を回収	宮下病院	・電話による督促、督促状・催告状の送付などを実施した。	南会津病院	・医療費が高額となる見込みの患者については、医療相談員が高額医療費事前申請制度等の説明を行うなど、未収金の発生防止に努めた。 ・医療圏外患者が増えるゴールデンウィークと年末年始については、委託職員による窓口会計業務を行い、出来る限り受診当日の収納に努めた。 ・納入期限後原則2ヶ月以内に督促状を送付し、それでも納付されない場合は催告状(年3回)送付や出張徴収(年2回)を実施した。	本局	・未収金徴収嘱託員2名を配置し、会津総合病院や喜多方病院など廃止した県立病院の未収金徴収を行った。	5 (5)
		実施状況													
矢吹病院	・窓口との連携や訪問督促を強化した。回収実績は以下のとおり。 （22年度分）6万4,450円のうち、1万5千円回収 （23年度分）130万3,340円のうち、115万9,753円を回収 （24年度分）338万9,920円のうち、280万8,554円を回収														
宮下病院	・電話による督促、督促状・催告状の送付などを実施した。														
南会津病院	・医療費が高額となる見込みの患者については、医療相談員が高額医療費事前申請制度等の説明を行うなど、未収金の発生防止に努めた。 ・医療圏外患者が増えるゴールデンウィークと年末年始については、委託職員による窓口会計業務を行い、出来る限り受診当日の収納に努めた。 ・納入期限後原則2ヶ月以内に督促状を送付し、それでも納付されない場合は催告状(年3回)送付や出張徴収(年2回)を実施した。														
本局	・未収金徴収嘱託員2名を配置し、会津総合病院や喜多方病院など廃止した県立病院の未収金徴収を行った。														
15		新たな未収金対策の検討	時間外外来患者等からの預かり金の徴収や口座振替制度の導入、民間業者への回収委託など、未収金の発生防止及び収納率の向上に向けた仕組みづくりを検討する。	新たに実施した「未収金回収業務委託」及び「口座振替サービス」等を通じて、債権回収を効果的・効率的に進めた結果、病院局(廃止病院)・大野病院の合計で1,218万8千634円回収することができた。 <table><tr><td></td><td>実施状況</td></tr><tr><td>未収金回収業務委託</td><td>・病院局(廃止病院)及び大野病院の医業未収金を対象に平成26年10月1日付けで法律事務所と回収業務委託契約を締結した。10月に委託データ整理、11月に法律事務所へのデータ提供を行い、12月より業務に着手した。 ・委託件数は400件、委託債権額は2,686万430円、うち回収額は390万9千444円。 ・法律事務所に悪質滞納者を任せることにより、病院局では比較的支払意志のある債務者に特化し集中的に督促することができ、効果的・効率的に債権回収を行うための仕組みづくりにつなげることができた。</td></tr><tr><td>口座振替サービス</td><td>・平成26年9月より病院局管理の債務者を対象に口座振替サービスを開始した。 ・年度末の利用者数は29名、回収額は79万680円。 ・本取組により、これまで不定期入金の債務者が毎月入金するようになったほか、出張徴収による支払いを希望する債務者については、口座振替に切り替えてもらうことにより、事務負担の軽減を図った。</td></tr></table>		実施状況	未収金回収業務委託	・病院局(廃止病院)及び大野病院の医業未収金を対象に平成26年10月1日付けで法律事務所と回収業務委託契約を締結した。10月に委託データ整理、11月に法律事務所へのデータ提供を行い、12月より業務に着手した。 ・委託件数は400件、委託債権額は2,686万430円、うち回収額は390万9千444円。 ・法律事務所に悪質滞納者を任せることにより、病院局では比較的支払意志のある債務者に特化し集中的に督促することができ、効果的・効率的に債権回収を行うための仕組みづくりにつなげることができた。	口座振替サービス	・平成26年9月より病院局管理の債務者を対象に口座振替サービスを開始した。 ・年度末の利用者数は29名、回収額は79万680円。 ・本取組により、これまで不定期入金の債務者が毎月入金するようになったほか、出張徴収による支払いを希望する債務者については、口座振替に切り替えてもらうことにより、事務負担の軽減を図った。	5 (-)				
	実施状況														
未収金回収業務委託	・病院局(廃止病院)及び大野病院の医業未収金を対象に平成26年10月1日付けで法律事務所と回収業務委託契約を締結した。10月に委託データ整理、11月に法律事務所へのデータ提供を行い、12月より業務に着手した。 ・委託件数は400件、委託債権額は2,686万430円、うち回収額は390万9千444円。 ・法律事務所に悪質滞納者を任せることにより、病院局では比較的支払意志のある債務者に特化し集中的に督促することができ、効果的・効率的に債権回収を行うための仕組みづくりにつなげることができた。														
口座振替サービス	・平成26年9月より病院局管理の債務者を対象に口座振替サービスを開始した。 ・年度末の利用者数は29名、回収額は79万680円。 ・本取組により、これまで不定期入金の債務者が毎月入金するようになったほか、出張徴収による支払いを希望する債務者については、口座振替に切り替えてもらうことにより、事務負担の軽減を図った。														
16	病院局	未収金担当会議の開催	実務者レベルの会議を定期的開催し、実効性のある効果的な滞納防止策や回収策を検討し、各病院の共通的な取組みとして実施する。	平成27年2月23日に未収金担当会議を開催し、各病院の取組みについて、意見交換・情報共有を行った。 平成26年度より本局の医業未収金回収業務を委託している法律事務所の職員を講師に招き研修会を実施した。講師の豊富な経験と実績に裏付けされた実践的で分かりやすい講義であり、職員のスキルアップにつながった。	5 (4)										

目標 3：費用の見直し（各病院の取組状況）

取組評価欄の（ ）内は前年度自己評価

番号	取組機関	アクションプラン	取組内容	進捗状況	取組評価																			
17	共通取組	業務委託内容の見直しによる委託費削減	委託業務の契約内容等の見直しや医療機器の調達における保守管理を考慮した契約実施などにより、委託費用の削減に取り組む。	委託料については、医療センターの整備に係る費用負担が消え、前年度比 2 億 3,652 万 8 千円減の 3 億 7,149 万円となった。 入札の適正執行やシルバー人材センターの活用、委託仕様の見直しなど、コスト削減に取り組んだ。	3 (3)																			
18		消耗品費や光熱水費等の削減	消耗品や光熱水費等の経費削減を図るため、職員の意識改革を進める。また、蛍光灯の L E D 化を検討するなど節電対策を推進する。	[消耗品費] 消耗品費については、廃止した会津総合病院に係る費用負担が消え、前年度比 659 万 2 千円減の 2,069 万 7 千円となった。 継続的に使用する物品等を同等廉価品へ切り替えたほか、仕様数量に応じセット購入を行うなど、コスト削減に取り組んだ。 [光熱水費] 光熱水費については、廃止した会津総合病院に係る費用負担が消え、前年度比 307 万 9 千円減の 6,355 万 6 千円となった。 電気のデマンドコントロール、水道の水圧調整、冷暖房の温度調整など、コスト削減に取り組んだ。	5 (5)																			
19		S P D による医薬品費等の削減	材料費の削減のため、S P D による医薬品・診療材料の共同購入や適正管理を徹底する。	会津医療センターの整備に係る費用負担が消え、前年度比 2 億 3,765 万 3 千円減の 5 億 678 万 8 千円となった。〔再掲 P16〕 S P D を活用し、診療材料・医薬品等の 3 病院の共同購入や適正な在庫管理や採用品目の見直し、期限切れ等による廃棄ロスの防止に取り組んだ。〔再掲 P16〕	4 (4)																			
			<table><tr><td></td><td>実施状況</td></tr><tr><td>矢吹病院</td><td>・薬事委員会において、使用薬品数の削減、ジェネリックへの変更等の検討を行った。</td></tr><tr><td>宮下病院</td><td>・後発医薬品への切り替え（ 5 品目 ） 使用頻度が少ない薬品の採用中止(7 品目)を行った。 ・期限切れの近い薬品を院内に周知し、その使用を促進した。</td></tr><tr><td>南会津病院</td><td>・S P D による価格交渉（薬品 2 回、診療材料 1 回）を行い、廉価購入と在庫の減少に努めた。 ・毎月薬事委員会を開催し同種同効薬の見直しや、不働在庫の提示による利用促進に努めた。</td></tr></table>			実施状況	矢吹病院	・薬事委員会において、使用薬品数の削減、ジェネリックへの変更等の検討を行った。	宮下病院	・後発医薬品への切り替え（ 5 品目 ） 使用頻度が少ない薬品の採用中止(7 品目)を行った。 ・期限切れの近い薬品を院内に周知し、その使用を促進した。	南会津病院	・S P D による価格交渉（薬品 2 回、診療材料 1 回）を行い、廉価購入と在庫の減少に努めた。 ・毎月薬事委員会を開催し同種同効薬の見直しや、不働在庫の提示による利用促進に努めた。												
	実施状況																							
矢吹病院	・薬事委員会において、使用薬品数の削減、ジェネリックへの変更等の検討を行った。																							
宮下病院	・後発医薬品への切り替え（ 5 品目 ） 使用頻度が少ない薬品の採用中止(7 品目)を行った。 ・期限切れの近い薬品を院内に周知し、その使用を促進した。																							
南会津病院	・S P D による価格交渉（薬品 2 回、診療材料 1 回）を行い、廉価購入と在庫の減少に努めた。 ・毎月薬事委員会を開催し同種同効薬の見直しや、不働在庫の提示による利用促進に努めた。																							
20	後発医薬品の採用率の向上	平成 25 年 4 月に国が策定した「後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ」を踏まえ、同種同効力でより安価な後発医薬品への採用・切替えを促進し、医薬品費等の削減に努める。	各病院における後発医薬品の採用率は次表のとおり。	3 (-)																				
			<table><tr><td></td><td>H 24</td><td>H 25</td><td>H 26</td></tr><tr><td>矢吹病院</td><td>7.12%</td><td>11.36%</td><td>14.33%</td></tr><tr><td>宮下病院</td><td>17.73%</td><td>25.25%</td><td>22.81%</td></tr><tr><td>南会津病院</td><td>6.52%</td><td>9.16%</td><td>9.24%</td></tr><tr><td>合 計</td><td>9.67%</td><td>13.49%</td><td>14.26%</td></tr></table>			H 24	H 25	H 26	矢吹病院	7.12%	11.36%	14.33%	宮下病院	17.73%	25.25%	22.81%	南会津病院	6.52%	9.16%	9.24%	合 計	9.67%	13.49%	14.26%
	H 24	H 25	H 26																					
矢吹病院	7.12%	11.36%	14.33%																					
宮下病院	17.73%	25.25%	22.81%																					
南会津病院	6.52%	9.16%	9.24%																					
合 計	9.67%	13.49%	14.26%																					
21	矢吹病院	病棟の男女混合化による病床の効率的運用	病床の効率的運用を行うため、病棟の男女混合化を検討する。	平成 27 年 4 月 1 日付けで、病棟再編を行い、病棟の男女混合化を実施した。 1 病棟は、トイレ改修工事終了後（平成 27 年 8 月～ 9 月）に男女混合化を実施する予定。	5 (-)																			
22	病院局	総人件費の抑制	更なる総人件費の抑制を図るため、給与費の抑制や、病棟・病床数の見直し、業務の効率化による職員配置の適正化、委託の推進などに取り組む。	廃止した会津総合病院の人件費に係る費用負担が消え、前年度比 3 億 3,669 万 4 千円減の 36 億 4,265 万 1 千円となった。〔再掲 P16〕	4 (4)																			

基本方針３：医療提供体制の充実強化（病院の体制整備の視点）

【改革プラン方針】 地域住民に安全で安心な医療を提供し、信頼される病院を目指していくため、これからの県立病院を担う専門的な知識を持った医師の確保・育成、診療体制の充実を図るとともに、医療安全対策の一層の強化を図る。		平成 26 年度取組状況及び自己評価																							
目標 1	診療体制及び経営基盤の強化	目標値達成状況評価		取組状況評価																					
		【 5 】	目標値を上回った	【 4 】	積極的に行われている																				
[医師確保等の充実強化] 県立医科大学や会津医療センター等との連携や医師紹介事業者の活用、公募による医師確保策の充実強化を図るとともに、医師の給与の見直しや勤務環境の改善などの処遇改善を行い、医師にとって魅力ある職場づくりを行う。 [医療の質と調和した経営改善] 「医療の質」、「経営の質」の両面においてバランスがとれた病院経営を進めるため、5つの視点（患者さんの視点・健全な病院経営の視点・病院の体制整備の視点・人材育成の視点・地域連携の視点）に沿った基本方針に基づく経営改革を実施する。		1 医師確保等の充実強化について 安定的な診療体制の確立を図るため、関係機関等との連携の下、常勤医師の確保に努めた。 【常勤医師数】																							
		<table><tr><td></td><td>H24</td><td>H25</td><td>H26</td></tr><tr><td>矢吹病院</td><td>6 人</td><td>7 人</td><td>7 人</td></tr><tr><td>宮下病院</td><td>5 人</td><td>3 人</td><td>4 人</td></tr><tr><td>南会津病院</td><td>12 人</td><td>11 人</td><td>11 人</td></tr><tr><td>合計</td><td>23 人</td><td>21 人</td><td>22 人</td></tr></table>					H24	H25	H26	矢吹病院	6 人	7 人	7 人	宮下病院	5 人	3 人	4 人	南会津病院	12 人	11 人	11 人	合計	23 人	21 人	22 人
			H24	H25	H26																				
		矢吹病院	6 人	7 人	7 人																				
		宮下病院	5 人	3 人	4 人																				
南会津病院	12 人	11 人	11 人																						
合計	23 人	21 人	22 人																						
各病院の医師より、適宜意見を聴取するなど、医師が安心して働ける勤務環境の整備や診療機能の充実などに努めた。																									
2 医療の質と調和した経営改善について 今後の病院運営における院長の方針や改革プランの取組状況等について、各病院長及び事務長等と意見交換を行った。（本局）																									
共通目標指標																									
		<div>常勤医師数</div> <div><div>H26目標 2 2 人</div><div>H26実績 2 2 人</div><div>H27目標 2 2 人</div><div>H28目標 2 2 人</div></div>																							

目標 2	医療安全対策の強化	目標値達成状況評価		取組状況評価																	
		【 4 】	目標値を達成できた	【 3 】	取り組んでいる																
<div>[不断の意識啓発]</div> <div>医療の安全性を高め、患者さんにより信頼される病院となるため、職員全員の医療事故防止に向けた一層の意識啓発と病院全体の危機管理を不断に取り組む。</div> <div>[組織的な体制整備]</div> <div>医療安全を総合的に推進する医療安全担当の配置、医療事故防止マニュアルの不断の見直し、医療事故防止対策委員会で医療事故の発生防止対策の検討、医療事故防止に関する研修会の定期的な開催など、医療安全対策に病院全体で組織的に取り組み、安全な医療の確保を図る。</div> <div>[マニュアルの周知徹底]</div> <div>危機発生時に迅速かつ的確な対応が図られるよう、普段から研修会等において、医療事故防止マニュアルの周知徹底に努める。</div>		<div>1 医療安全対策の推進</div> <div>患者中心の質の高い、安全な医療を提供するため、病院全体として組織的に医療安全管理及び事故防止に取り組んだ。</div> <div>毎月、医療安全対策委員会を開催し、院内全体でインシデント・アクシデント報告の内容と対応策及び再発防止策を確認した。</div> <div>医療安全担当を配置し、定期的に院内ラウンドを行い、インシデント・アクシデント報告の確認や院内環境の安全性の確認を行った。</div> <div>医療事故防止マニュアルを整備し、業務の統一化・標準化を図るとともに、研修会等を通じて各職員に周知・指導を行った。</div> <div>平成 26 年度から毎年 11 月 25 日を含む 1 週間を「県立病院医療安全週間」と定め、医療安全の意識向上を図ることとした。今年度は、医療安全に関する標語の募集し、優秀作品を表彰したほか、県立医科大学の職員を講師に迎え医療安全をテーマに講演会を開催した。</div> <div>医療安全研修会を開催し、医療安全に関する基本的な考え方や医療事故予防・再発防止のための具体的な方策について情報共有を図るとともに、職員一人ひとりの医療安全に対する意識の向上に努めた。</div> <div><div>【医療安全研修会参加率】</div><table><tr><td></td><td>H24</td><td>H25</td><td>H26</td></tr><tr><td>矢吹病院</td><td>100%</td><td>100%</td><td>100%</td></tr><tr><td>宮下病院</td><td>50%</td><td>56%</td><td>53.5%</td></tr><tr><td>南会津病院</td><td>92.4%</td><td>88.7%</td><td>82.8%</td></tr></table></div>					H24	H25	H26	矢吹病院	100%	100%	100%	宮下病院	50%	56%	53.5%	南会津病院	92.4%	88.7%	82.8%
			H24	H25	H26																
矢吹病院	100%	100%	100%																		
宮下病院	50%	56%	53.5%																		
南会津病院	92.4%	88.7%	82.8%																		
<div>共通目標指標</div> <div><div>医療安全研修参加率</div><div><div>H 26 目標</div><div>8 5 % 以上</div></div><div><div>H 26 実績</div><div>7 8 . 8 %</div></div><div><div>H 27 目標</div><div>9 0 % 以上</div></div><div><div>H 28 目標</div><div>9 5 % 以上</div></div></div>																					

目標1：診療体制及び経営基盤の強化（各病院の取組状況）

取組評価欄の（ ）内は前年度自己評価

番号	取組機関	アクションプラン	取組内容	進捗状況	取組評価																										
1	共通取組	常勤医師及び非常勤医師の確保	安定的な診療体制の確立を図るため、県保健福祉部や県立医科大学、会津医療センターなど関係機関等と連携しながら常勤医師及び非常勤医師を確保する。	県立医科大学や会津医療センター、近隣病院等から非常勤医師の派遣を受けながら、診療機能の充実強化に努めた。 <table><tr><td></td><td>常勤医師</td><td colspan="2">非常勤医師（H26.5.1 現在）</td></tr><tr><td rowspan="2">矢吹病院</td><td rowspan="2">7 人</td><td>県立医科大学</td><td>不特定</td></tr><tr><td>民間病院</td><td>2 人</td></tr><tr><td rowspan="2">宮下病院</td><td rowspan="2">4 人</td><td>会津医療センター</td><td>10 人</td></tr><tr><td>矢吹病院</td><td>1 人</td></tr><tr><td rowspan="4">南会津病院</td><td rowspan="4">11 人</td><td>県立医科大学</td><td>6 人</td></tr><tr><td>会津医療センター</td><td>10 人</td></tr><tr><td>民間病院</td><td>8 人</td></tr><tr><td>矢吹病院</td><td>1 人</td></tr></table>		常勤医師	非常勤医師（H26.5.1 現在）		矢吹病院	7 人	県立医科大学	不特定	民間病院	2 人	宮下病院	4 人	会津医療センター	10 人	矢吹病院	1 人	南会津病院	11 人	県立医科大学	6 人	会津医療センター	10 人	民間病院	8 人	矢吹病院	1 人	4 (4)
	常勤医師	非常勤医師（H26.5.1 現在）																													
矢吹病院	7 人	県立医科大学	不特定																												
		民間病院	2 人																												
宮下病院	4 人	会津医療センター	10 人																												
		矢吹病院	1 人																												
南会津病院	11 人	県立医科大学	6 人																												
		会津医療センター	10 人																												
		民間病院	8 人																												
		矢吹病院	1 人																												
2	宮下病院	臨床研修医や実習生の受入	宮下病院等後援会からの支援を受けながら、県立医科大学や会津医療センターとの連携の下、臨床研修協力施設として臨床研修医師を積極的に受け入れるとともに、家庭医プログラムに基づく実習生の受入体制の強化を図る。	臨床研修医を 3 名受け入れた。 修学資金貸与生の病院見学者を 1 名受け入れた。	5 (5)																										
へき地医療体験研修等の受入		へき地医療体験研修を積極的に支援することで、医学部生への将来的なへき地医療従事の動機付けとなることを目指す。	会津・南会津保健福祉事務所による看護学生のための地域医療体験研修（看護学生）11 名 会津保健福祉事務所による地域保健実習（獨協医科大学医学部生）1 名 自治医科大学福島県人会夏期研修（医学部生）10 名	5 (5)																											
4	南会津病院	研修病院としての役割	県立医科大学や自治医科大学等との連携の下、協力型臨床研修病院として臨床研修医師や家庭医プログラムに基づく実習生等の受入体制の強化を図る。	自治医科大学出身臨床研修医（地域医療）2 名を受け入れた。	3 (3)																										
5	病院局	医科大学との連携による医師確保の強化	県立医科大学や会津医療センター等との連携強化などにより、医師確保対策の強化を図る。	県立医科大学や自治医科大学等へ医師の派遣要請を行った。 医師確保等推進事業（医師紹介業者及び医師求人サイトの活用等）やドクターバンク事業（今すぐから将来まで県立病院へ勤務する医師を全国的に募集）を展開し、医師確保に努めた。	4 (4)																										
6		公募による医師確保	医師紹介事業者の活用、インターネットを始め様々な広報媒体の活用、本県に興味を持っている県外在住者への P R 等、公募による医師確保対策の強化を図る。	ホームページや医師紹介事業者の活用等、様々な広報媒体の活用を行い、公募による医師確保対策の強化を図った。	4 (4)																										
7		医師の処遇改善	県立病院に勤務する医師について、給与の見直し、医師事務作業補助者の配置などによる勤務負担の軽減、研修制度の充実など処遇改善を図り、医師にとって魅力ある職場づくりを行う。	各病院の医師より適宜意見を徴するなど、現場医師の意見を把握しながら、顔の見える関係の構築を図り、魅力ある病院づくりを行った。	4 (4)																										
8		中長期的な医師確保	将来に向けた医師の確保を図るため、修学資金の被貸与者や臨床研修医の受入れなどを行う。	平成 22 年度から保健福祉部の修学資金制度と統合し、「へき地医療等医師確保修学資金」を創設した。 なお、従来貸与を受けていた医学部学生については、これまで同様貸与を継続している。	4 (4)																										
9		目標管理の実施	5 つの視点に沿った基本方針を踏まえ、良質な医療の提供と健全な病院経営の実現に向けた取組みを実施していくとともに、定期的に取組みの進捗状況や課題の検討などを行う。	平成 25 年 3 月に策定した第二次改革プランの進捗管理を行うために、県立病院事業経営評価委員会委員による助言を得ながら評価・検討を行った。	4 (4)																										

目標2：医療安全対策の強化（各病院の取組状況）

取組評価欄の（ ）内は前年度自己評価

番号	取組機関	アクションプラン	取組内容	進捗状況	取組評価																																																																																																																																																																															
10	共通取組	専任の医療安全担当による管理体制の強化や研修会の開催等による安全対策の強化	専任の医療安全担当を配置するとともに、医療安全対策委員会等の活動を強化して、医療事故防止や院内感染防止に関する情報の収集やアクシデント、インシデント事例の検証等を行う。また、定期的に医療事故防止のための研修会を開催し、マニュアルの見直しや改善事項等について職員への指示を徹底するなど、医療の安全確保に総合的かつ組織的に取り組む。	医療安全対策委員会を毎月1回開催し、インシデント等の報告及び検討を行ったほか、医療安全講習会を開催した。 院内ラウンドを毎月1回実施した。 平成19年9月より専任の医療安全担当1名を配置し、医療安全管理の強化・充実が図れるよう活動を行った。（矢吹病院） 〔平成26年度インシデント・アクシデント報告件数〕 <table><tr><th rowspan="2">発生場面</th><th colspan="5">インシデント</th><th colspan="5">アクシデント</th></tr><tr><th>レベル0</th><th>レベル1</th><th>レベル2</th><th>レベル3a</th><th>計</th><th>レベル3b</th><th>レベル4a</th><th>レベル4b</th><th>レベル5</th><th>計</th></tr><tr><td>内服薬・外用薬</td><td>177</td><td>130</td><td>44</td><td>8</td><td>359</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0</td></tr><tr><td>注射</td><td>16</td><td>34</td><td>6</td><td></td><td>56</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0</td></tr><tr><td>検査</td><td>8</td><td>22</td><td>1</td><td></td><td>31</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0</td></tr><tr><td>治療・処置</td><td>3</td><td>6</td><td></td><td></td><td>9</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0</td></tr><tr><td>医療機器等</td><td></td><td>6</td><td>2</td><td></td><td>8</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0</td></tr><tr><td>ドレーン・チューブ</td><td></td><td>5</td><td>6</td><td>6</td><td>17</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0</td></tr><tr><td>輸血</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0</td></tr><tr><td>療養上の世話</td><td>1</td><td>12</td><td>3</td><td>2</td><td>18</td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td>1</td></tr><tr><td>汚染事故(針刺し等)</td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0</td></tr><tr><td>転倒・転落</td><td>115</td><td>61</td><td>53</td><td>13</td><td>242</td><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td>5</td></tr><tr><td>その他</td><td>281</td><td>163</td><td>68</td><td>7</td><td>519</td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td>1</td></tr><tr><td>計</td><td>602</td><td>439</td><td>183</td><td>36</td><td>1,260</td><td>7</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>7</td></tr><tr><td>平成25年度</td><td>819</td><td>492</td><td>207</td><td>75</td><td>1,593</td><td>7</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>7</td></tr><tr><td>差引(＝－)</td><td>217</td><td>53</td><td>24</td><td>39</td><td>333</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr></table>	発生場面	インシデント					アクシデント					レベル0	レベル1	レベル2	レベル3a	計	レベル3b	レベル4a	レベル4b	レベル5	計	内服薬・外用薬	177	130	44	8	359					0	注射	16	34	6		56					0	検査	8	22	1		31					0	治療・処置	3	6			9					0	医療機器等		6	2		8					0	ドレーン・チューブ		5	6	6	17					0	輸血					0					0	療養上の世話	1	12	3	2	18	1				1	汚染事故(針刺し等)	1				1					0	転倒・転落	115	61	53	13	242	5				5	その他	281	163	68	7	519	1				1	計	602	439	183	36	1,260	7	0	0	0	7	平成25年度	819	492	207	75	1,593	7	0	0	0	7	差引(＝－)	217	53	24	39	333	0	0	0	0	0	4 (4)
発生場面	インシデント					アクシデント																																																																																																																																																																														
	レベル0	レベル1	レベル2	レベル3a	計	レベル3b	レベル4a	レベル4b	レベル5	計																																																																																																																																																																										
内服薬・外用薬	177	130	44	8	359					0																																																																																																																																																																										
注射	16	34	6		56					0																																																																																																																																																																										
検査	8	22	1		31					0																																																																																																																																																																										
治療・処置	3	6			9					0																																																																																																																																																																										
医療機器等		6	2		8					0																																																																																																																																																																										
ドレーン・チューブ		5	6	6	17					0																																																																																																																																																																										
輸血					0					0																																																																																																																																																																										
療養上の世話	1	12	3	2	18	1				1																																																																																																																																																																										
汚染事故(針刺し等)	1				1					0																																																																																																																																																																										
転倒・転落	115	61	53	13	242	5				5																																																																																																																																																																										
その他	281	163	68	7	519	1				1																																																																																																																																																																										
計	602	439	183	36	1,260	7	0	0	0	7																																																																																																																																																																										
平成25年度	819	492	207	75	1,593	7	0	0	0	7																																																																																																																																																																										
差引(＝－)	217	53	24	39	333	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																										
11		危機管理体制の確保	東日本大震災の発生を教訓として、災害等に関する対応マニュアルを適宜見直すとともに、災害等に備えるため、医薬品・診療材料及びボイラー・非常用発電装置用の燃料、給食材料等の備蓄を行う。また、供給事業者と災害時物資優先供給協定を締結し、医薬品・診療材料、燃料等の災害時の優先供給体制を確保することを検討する。災害時には県立医科大学と県内医療機関で構成する「ふくしま病院連携ネットワーク」を通じて、受け入れ可能な病床数や医薬品の在庫量などの情報を提供し合い、迅速な対応につなげる。	震災後は、災害時においても患者さんに食事が提供できるよう、3日分の食材等（飲料水、レトルト食品、缶詰、ご飯、発熱セットなど）を備蓄している。（矢吹病院） 災害時において、自家発電ができるようA重油（ボイラー・自家発電用）について、必ず一定量（1万リットル、7日分程度）以下にならないようにしている。（矢吹病院） 食料等を3日分備蓄している。（宮下病院） 福島県地域防災計画に基づき、広域避難に対応するため、県災害対策課の依頼に応じ、食料品や紙おむつ、災害用備蓄毛布等を保管している。（南会津病院） 災害拠点病院として、災害発生時の医療機能の維持のため、平成26年度に太陽光発電（事業費6,300万円）を整備した。（南会津病院）	4 (－)																																																																																																																																																																															
12	病院局	医療安全対策プロジェクトチームの開催	各病院の医療安全担当責任者で構成される医療安全対策プロジェクトチームを定期的に開催し、一層の安全な医療の提供を図るため、リスク情報収集や調査分析を行うなど、医療事故防止対策の強化に組織的に取り組む。	県立病院医療安全対策プロジェクトチーム会議を開催し、各病院における取組状況について、情報共有等を行った。（6/10、10/14開催） 平成26年度から毎年11月25日を含む1週間を「県立病院医療安全週間」と定め、医療安全の意識向上を図った。 今年度は、医療安全に関する標語の募集し、優秀作品を表彰したほか、県立医科大学の職員を講師に迎え医療安全をテーマに講演会を開催した。	5 (4)																																																																																																																																																																															

基本方針４：職員の資質向上と人材育成（人材育成の視点）

【改革プラン方針】 地域住民に良質な医療サービスを提供するという基本姿勢に立ち、部門間の連携や積極的な対話をすすめる、コミュニケーション能力の向上を図りながら、職員の経営参加に対する意識の向上、職場の活性化、組織風土の改善を図る。 また、院内外の人的資源を有効に活用しながら、次世代を担う職員や核となるリーダーの育成、職員の専門性向上への支援を実施する。		平成 26 年度取組状況及び自己評価			
目標 1	人材の育成と確保	目標値達成状況		取組状況	
		【 5 】	目標値を上回った	【 4 】	積極的に行われている
[人材の積極的活用] 組織の活性化や職員のモチベーションの向上を図るため、人的資源としての院内の優秀な人材の積極的な活用を図る。 [リーダー育成] 地域住民から信頼される病院となるため、職員の育成を図るとともに、核となるリーダーの育成に努める。		1 人材育成について 働きやすい病院づくりを目指して、積極的な人材育成と資格取得のための支援を行った。			
		【認定看護師の取得状況】(平成 27 年 7 月 14 日現在)			
		認定分野	取得者数	備考	
		感染管理	3 人	H22:1 人、H26:1 人、H27:1 人	
		糖尿病看護	1 人	H27:1 人	
		精神科看護	2 人	H26:2 人	
		WOC 看護(皮膚・排泄ケア)	1 人	H26:1 人	
		日本看護協会看護研修学校にて研修中 1 人			
		【資格取得者数(支援者数)】			
			内容	人数	
矢吹病院	精神科認定看護師(薬物療法、行動制限最小化看護)	2 人			
	第一種衛生管理者	2 人			
宮下病院	認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修	1 人			
	甲種防火管理新規講習	1 人			
	重症度、医療・看護必要度評価者院内指導者研修	1 人			
	新人看護職員研修担当者研修	1 人			
	新人看護職員研修責任者研修	1 人			
	第一種衛生管理者講習会	1 人			
南会津病院	認定看護師(感染管理、皮膚・排泄ケア)	2 人			
	災害派遣医療チーム研修 1(医師)	1 人			
		計	13 人		

〔資質向上の環境づくり〕

各種研修会や学会等への参加機会の拡充や教育体制の充実などにより、全体の水準向上を図るとともに、資質向上に取り組める環境づくりに努める。

キャリアアップのための看護師の教育体系を整備し、計画的な教育訓練を行った。

管理者研修

- 認定看護管理者サードレベル
- 認定看護管理者セカンドレベル
- 認定看護管理者ファーストレベル

専門研修

- 医療安全管理者養成研修
- 透析療法従事職員研修
- 精神科身体合併症看護 ・ 研修

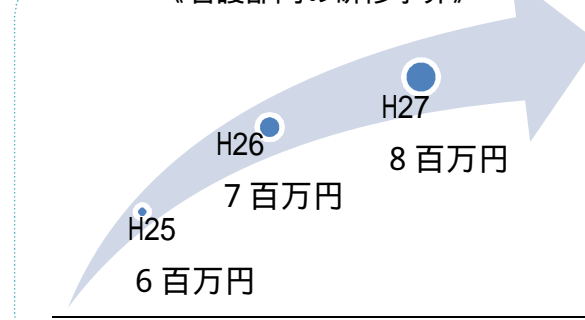
セミナー・講演会・発表会など

- 県立病院看護部看護研究発表会

クリニカルラダー別研修

- レベル -2
・ 継続看護への行動化
・ 看護管理
- レベル -1
・ 継続看護への行動化
・ 看護管理
- レベル
・ 継続看護への行動化
・ 看護管理
- レベル ・
・ 継続看護への行動化

《看護部門の研修予算》



看護研究を通じて自己研鑽に取り組み、看護の質の向上を図るため、「県立病院看護部看護研究発表会」を開催した。

	演題
矢吹病院	精神科入院患者の原発事故による帰宅困難がもたらす心理的影響 第40回日本精神科看護学術集会にて発表（H27.6.19）
宮下病院	山間過疎地域に住む要介護高齢者を介護する家族の災害への備え 第46回日本看護学会在宅看護学術集会にて発表予定（H27.10 予定）
南会津病院	地域連携室とのカンファレンスに参加した看護師の退院支援に関する捉え方 第46回日本看護学会慢性期看護学術集会にて発表予定（H27.9 予定）

共通目標指標

資格取得者支援者数



H26目標
9人

H26実績
13人

H27目標
11人

H28目標
13人

目標 2	職員の意識改革	目標値達成状況		取組状況	
		【 3 】	目標値をほぼ達成できた	【 3 】	取り組んでいる
<div>[職員提案の実施]</div> <div>職員のモチベーションの向上を図るため、職員提案を実施し、問題点を把握し改善を行うことで、働きがいを感じる良好な職場環境づくりに努める。</div>		1 職員提案について 病院運営の効率化、患者サービスの向上を目的として、病院運営にかかわる新たな取組みや業務改善提案を職員から募集し、職員の能力開発に努めるとともに、組織の活性化を図った。			
			提案内容		
		矢吹病院	病院の看板を見やすくする 院内禁煙 [提案件数: 2 件]		
		宮下病院	看護の日イベント企画 癒しのある空間の提供 外来掲示板 5S 活動 病棟内 5S 活動 放射線事務取扱の再検討 栄養情報の提供 イベント食でサービス向上 [提案件数: 8 件]		
		南会津病院	医療廃棄物の管理 廊下や交差点の安全確保 院内掲示物の整理 患者さんの御意見等の職員への周知徹底 [提案件数: 4 件]		
		本局	未収金回収業務委託の実施 医療費口座振替サービスの開始 ワンステップ運動の実施 (12 件) [提案件数: 14 件]		
		共通目標指標			
		職員提案件数			
		<div><div>H26目標 3 5 件以上</div><div>H26実績 2 8 件</div><div>H27目標 3 8 件以上</div><div>H28目標 4 3 件以上</div></div>			

目標１：人材の育成と確保（各病院の取組状況）

取組評価欄の（ ）内は前年度自己評価

番号	取組機関	アクションプラン	取組内容	進捗状況	取組評価															
1	共通取組	各専門分野のスペシャリストの育成	病院内の組織の活性化と職員のモチベーションの向上を図るため、業務推進に当たってのリーダーを育成するとともに、職員の資質向上を図ることを目的に、医療スタッフの専門的で高度な知識や技能の習得を計画的に進める。	働きやすい病院づくりを目指して、積極的な人材育成と資格取得のための支援を行った。〔再掲 P25〕	5 (5)															
2		人材育成のための各種研修会への参加や院内教育の充実	職員の資質向上と組織全体の活性化のため、各種研修会や学会等への参加機会の拡充を図るとともに、病院内における職員教育・研修計画に基づき各種研修会等を定期的に開催する。	認定看護師 2 名（精神科看護）を養成した。（矢吹病院） 認定看護師 2 名（感染管理、WOC 看護）を養成した。（南会津病院） 県内でアウトリーチを実施している団体に職員を派遣して行う実地研修を実施した。（矢吹病院） 在宅医療推進のための訪問看護人材育成研修に職員を派遣した。（宮下病院）	4 (4)															
3		医師のキャリア形成支援	県保健福祉部や県立医科大学、会津医療センター等と連携しながら、最新の医療技術や知識を習得する機会を設けるなど医師のキャリア形成支援を行うとともに、現在行われている国の「新たな専門医に関する仕組み」の検討内容を注視しながら、適切な対応に努めていく。	[海外研修医師派遣] 県立病院の医師の海外派遣を支援するため福島県立病院海外研修医師派遣要項を策定した。 平成 26 年度は予算額 70 万円を確保し募集したが、希望者はいなかった。引き続き制度の周知に努めるとともに、医師が応募しやすい環境づくりに取り組んでいく。 直近の実績は次のとおり。 ・平成 24 年度 宮下病院 1 名（オーストラリア） 南会津病院 1 名（韓国） ・平成 23 年度 宮下病院 1 名（アメリカ） 南会津病院 1 名（アメリカ） [医学研究補助金] 県立病院の診療水準の向上及び地域医療の増進を図るため、県立病院の常勤医師の実施する研究に補助金を交付した。 <table><tr><td></td><td>研究課題</td><td>交付決定額</td></tr><tr><td>宮下病院</td><td>高齢者における血中分泌型 Klotho 蛋白の発現量と動脈硬化の関連</td><td>1,640 千円</td></tr><tr><td rowspan="4">南会津病院</td><td>日本人における自由行動下血圧追跡研究</td><td>720 千円</td></tr><tr><td>神経障害性疼痛スクリーニングツール PainDETECT を用いた腰部脊柱管狭窄の患者における下肢症状に関する検討</td><td>820 千円</td></tr><tr><td>変形性膝関節症や腰部脊柱管狭窄症が生活習慣病や医療資源消費に与える影響 - 前向き研究 -</td><td>820 千円</td></tr><tr><td>南会津地方における下気道炎の疫学的、臨床学的検討</td><td>1,000 千円</td></tr></table>		研究課題	交付決定額	宮下病院	高齢者における血中分泌型 Klotho 蛋白の発現量と動脈硬化の関連	1,640 千円	南会津病院	日本人における自由行動下血圧追跡研究	720 千円	神経障害性疼痛スクリーニングツール PainDETECT を用いた腰部脊柱管狭窄の患者における下肢症状に関する検討	820 千円	変形性膝関節症や腰部脊柱管狭窄症が生活習慣病や医療資源消費に与える影響 - 前向き研究 -	820 千円	南会津地方における下気道炎の疫学的、臨床学的検討	1,000 千円	4 (-)
		研究課題	交付決定額																	
宮下病院	高齢者における血中分泌型 Klotho 蛋白の発現量と動脈硬化の関連	1,640 千円																		
南会津病院	日本人における自由行動下血圧追跡研究	720 千円																		
	神経障害性疼痛スクリーニングツール PainDETECT を用いた腰部脊柱管狭窄の患者における下肢症状に関する検討	820 千円																		
	変形性膝関節症や腰部脊柱管狭窄症が生活習慣病や医療資源消費に与える影響 - 前向き研究 -	820 千円																		
	南会津地方における下気道炎の疫学的、臨床学的検討	1,000 千円																		
4	個人情報の管理徹底	個人情報に関する職員の意識改革に取り組むとともに、U S B メモリ等による情報の持ち出しの禁止や個人情報のパスワード設定等について周知徹底を行い、個人情報保護の管理徹底に努める。	「福島県情報セキュリティポリシー第 2 部情報セキュリティ対策基準」に基づき、次の視点から職員個々が個人情報等の取扱いについて自己点検を行った ・組織体制・人的セキュリティ（職員の情報セキュリティ教育、事件・事故の報告の徹底 等） ・情報資産の管理（記録媒体の管理、情報機器の利用、情報資産の持ち出し・移動 等） ・技術セキュリティ対策（悪意のあるソフトウェアからの保護、パスワード管理 等）	3 (-)																

行動計画取組状況（基本方針４：職員の資質向上と人材育成（人材育成の視点））

5	矢吹病院	県立医大看護学部企画の「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」の積極的参加	職員の資質向上に取り組む環境づくりを進めるため、地域ケアに必要な知識・技術の習得や事例検討、実践によって、長期在院精神疾患患者に対する看護のレベルアップを目指す「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」への参加を促進する。	事業中止	- (4)							
6	病院局	資格取得支援	専門的な知識と技能を持った職員の育成を図るため、全職種で資格取得等のスキルアップの支援体制を確立する。	認定看護師 4 名（感染管理、精神科看護、WOC 看護）を養成した。	5 (5)							
7		県立病院以外の病院との人事交流の検討	県立病院職員がより多くの知識や経験を身につけるため、会津医療センターなど県立病院以外の病院との人事交流を検討する。	震災の影響によりスタッフ不足に陥っている民間医療機関の支援を行うとともに、業務従事研修を併せて行うことで、県看護職員の資質向上につなげるため、平成 24 年度より民間医療機関への看護職員の派遣を行っている。 <table><tr><td></td><td>H24</td><td>H25</td><td>H26</td></tr><tr><td>看護師派遣</td><td>2 人</td><td>1 人</td><td>1 名</td></tr></table> 平成 27 年度からは看護職員を 1 名会津医療センターに派遣している。		H24	H25	H26	看護師派遣	2 人	1 人	1 名
	H24	H25	H26									
看護師派遣	2 人	1 人	1 名									

目標２：職員の意識改革（各病院の取組状況）

取組評価欄の（ ）内は前年度自己評価

番号	取組機関	アクションプラン	取組内容	進捗状況	取組評価																																			
8	共通取組	職員提案制度の実施	職員の病院経営への参加意識の向上を図るため、患者サービスの向上や業務の効率化、経費の削減・収益の向上に向けた職員提案制度を充実する。	<p>病院運営の効率化、患者サービスの向上を目的として、病院運営にかかわる新たな取組みや業務改善提案を職員から募集し、職員の能力開発に努めるとともに、組織の活性化を図った。</p> <p>【再掲 P27】</p> <p>新たな未収金対策として、廃止病院及び大野病院の未収金を対象に法律事務所への回収業務委託や口座振替サービスを実施した。本取組みにより 470 万円を回収するなど、一定の効果を上げることができたことから、平成 27 年度は、矢吹病院、宮下病院、南会津病院にも対象を広げ、実施していく予定。</p> <p>〔回収実績〕</p> <table><tr><td></td><td>回収実績</td><td>備考</td></tr><tr><td>法律事務所への回収業務委託</td><td>3,909 千円</td><td>平成 27 年 1 月～平成 27 年 3 月</td></tr><tr><td>口座振替サービス</td><td>791 千円</td><td>平成 26 年 9 月～平成 27 年 3 月</td></tr></table> <p>県立病院の基本理念である「親切」「信頼」「進歩」の実現に向けて、「職員の意識改革」と「業務の効率化」を主眼に、ワンステップ運動^(注)に取り組んだ。</p> <p>ワンステップ運動とは、朝礼時に毎月のテーマに沿って職員が持ち回りでスピーチを行い、見ているだけ、考えているだけの傍観者的な排除を行い、一歩踏み出して一人ひとりの行動を求めていく運動。</p> <p>〔各月テーマ〕</p> <table><tr><td>月</td><td>テーマ</td></tr><tr><td>4 月</td><td>職場内の業務内容を理解しよう！</td></tr><tr><td>5 月</td><td>ポジティブ思考で仕事をしよう！</td></tr><tr><td>6 月</td><td>大きな進歩は、小さな改善の積み重ねから！</td></tr><tr><td>7 月</td><td>いい仕事は、健康づくりから！</td></tr><tr><td>8 月</td><td>夏バテ対策で業務効率の低下を防ごう！</td></tr><tr><td>9 月</td><td>上半期を振り返ろう！</td></tr><tr><td>10 月</td><td>読書の秋、教養を深めよう！</td></tr><tr><td>11 月</td><td>エコライフを実践しよう！</td></tr><tr><td>12 月</td><td>5 S 活動に取り組もう！</td></tr><tr><td>1 月</td><td>新年の目標をたてよう！</td></tr><tr><td>2 月</td><td>気づく力を磨こう！</td></tr><tr><td>3 月</td><td>今年度を振り返ろう！</td></tr></table>		回収実績	備考	法律事務所への回収業務委託	3,909 千円	平成 27 年 1 月～平成 27 年 3 月	口座振替サービス	791 千円	平成 26 年 9 月～平成 27 年 3 月	月	テーマ	4 月	職場内の業務内容を理解しよう！	5 月	ポジティブ思考で仕事をしよう！	6 月	大きな進歩は、小さな改善の積み重ねから！	7 月	いい仕事は、健康づくりから！	8 月	夏バテ対策で業務効率の低下を防ごう！	9 月	上半期を振り返ろう！	10 月	読書の秋、教養を深めよう！	11 月	エコライフを実践しよう！	12 月	5 S 活動に取り組もう！	1 月	新年の目標をたてよう！	2 月	気づく力を磨こう！	3 月	今年度を振り返ろう！	4 (3)
	回収実績	備考																																						
法律事務所への回収業務委託	3,909 千円	平成 27 年 1 月～平成 27 年 3 月																																						
口座振替サービス	791 千円	平成 26 年 9 月～平成 27 年 3 月																																						
月	テーマ																																							
4 月	職場内の業務内容を理解しよう！																																							
5 月	ポジティブ思考で仕事をしよう！																																							
6 月	大きな進歩は、小さな改善の積み重ねから！																																							
7 月	いい仕事は、健康づくりから！																																							
8 月	夏バテ対策で業務効率の低下を防ごう！																																							
9 月	上半期を振り返ろう！																																							
10 月	読書の秋、教養を深めよう！																																							
11 月	エコライフを実践しよう！																																							
12 月	5 S 活動に取り組もう！																																							
1 月	新年の目標をたてよう！																																							
2 月	気づく力を磨こう！																																							
3 月	今年度を振り返ろう！																																							

基本方針５：地域との連携・共生（地域連携の視点）

【改革プラン方針】 地域のニーズに対応した質の高い医療の提供や収益確保のため、各地域の医療機関や介護施設等との役割分担を図りながら、連携を一層強化していく。 また、地域に親しまれる病院を目指して、地元市町村をはじめとする保健・医療・福祉等の行政機関や各種企業・団体との連携を強化し、地域住民との交流や連携事業を積極的に行う。		平成 26 年度取組状況及び自己評価			
目標 1	地域医療機関等との連携	目標値達成状況評価		取組状況評価	
		【 4 】	目標値を達成できた	【 4 】	積極的に行われている
[紹介率及び逆紹介率の向上] 紹介率及び逆紹介率を向上させながら患者数の増加を図るため、地域の医療機関等との機能分担や訪問を通じての顔の見える連携を積極的に進める。 [社会復帰に向けた体制整備] 患者さんを地域全体でサポートしていくため、医療機関や介護施設、行政機関との連携を強化し、患者さんが適切な治療を受け早期の社会復帰を果たせるような体制整備を図る。		1 地域医療連携について 地域の医療・保健・福祉・介護関係者との連携を強化し情報共有に努めた。			
		実施状況			
		矢吹病院	介護施設を 71 回訪問、ケース会議を 318 回実施した。		
		宮下病院	地域の介護老人福祉施設への医師派遣 (桐寿苑：週 1 回、昭和ホーム：月 2 回) 地域の保健・福祉関係機関との合同ケア会議の開催 (桐寿苑：月 1 回、かねやまホーム：2 月に 1 回)		
		南会津病院	「南会津 保健・医療・介護 懇談会」を開催し、地元医師会の医師をはじめとして「顔の見える」関係づくりを行った。		
		医療相談室等が中心となり病病・病診連携を強化し、紹介率及び逆紹介率の向上に努めた。			
		[紹介率]			
			H24	H25	H26
		矢吹病院	17.4%	18.6%	22.5%
		宮下病院	8.8%	8.0%	8.0%
南会津病院	13.6%	14.2%	14.5%		
[逆紹介率]					
	H24	H25	H26		
矢吹病院	20.3%	20.1%	21.9%		
宮下病院	28.3%	32.1%	33.6%		
南会津病院	12.2%	25.9%	28.5%		
入院受入れ体制の整備やベッドコントロールの効率化を図り、病床利用率の向上に努めた。					
[病床利用率]					
	H24	H25	H26		
矢吹病院	67.0%	65.3%	62.1%		
宮下病院	38.9%	36.0%	54.0%		
南会津病院	60.3%	66.1%	58.5%		

〔医師派遣等による支援機能発揮〕

へき地医療拠点病院として、国保診療所や介護施設への医師派遣による診療応援を実施するなど、地域の病院等との相互協力・支援の取組みを充実する。

〔地域生活移行に向けた体制整備〕

患者さんの地域生活移行に向けた体制の充実を図るため、ボランティアによる地域住民との交流やグループホームなどとの連携を強化する。

２ 医師派遣等による支援機能について

地域の国保診療所や特別養護老人ホームに医師派遣を行った。

	派遣先	H24	H25	H26
宮下病院	柳津町国民健康保険診療所	44 回	43 回	48 回
	金山町国民健康保険診療所	192 回	47 回	142 回
	特別養護老人ホーム桐寿苑	50 回	50 回	51 回
	特別養護老人ホーム昭和ホーム	-	15 回	23 回
南会津病院	只見町国民健康保険朝日診療所	22 回	23 回	210 回

３ 地域生活移行に向けた体制整備について

退院促進や地域との調整を行うとともに、グループホームへの体験入居や施設訪問などを通じて、円滑な地域生活への移行及び安定した地域生活を送るための支援を行った。

	取組内容	H24	H25	H26
矢吹病院	介護施設等の訪問	72 回	61 回	71 回
	デイケアの実施	4,315 人	3,689 人	2,991 人
	訪問看護の実施	1,777 人	1,747 人	2,141 人

共通目標指標

紹介率



逆紹介率



病床利用率



目標 2	県民への情報提供	目標値達成状況評価		取組状況評価																																														
		【 - 】	目標値の設定なし	【 3 】	取り組んでいる																																													
<div>[効果的な情報発信]</div> <div>地域に親しまれる病院となるため、院外広報誌の発行等を通じて医療に関する情報や院内活動などの情報発信に取り組む。</div>		1 情報発信について																																																
		ホームページの定期的な更新や院内広報誌の発行、地域住民との交流イベント等を通じて情報発信を積極的に行った。																																																
		<table><tr><td></td><td>派遣先</td><td>H24</td><td>H25</td><td>H26</td></tr><tr><td rowspan="3">矢吹病院</td><td>ホームページアクセス件数</td><td>7,293 件</td><td>8,460 件</td><td>11,830 件</td></tr><tr><td>院外広報誌の発行</td><td>2 回</td><td>2 回</td><td>2 回</td></tr><tr><td>交流イベントの開催</td><td>0 回</td><td>1 回</td><td>2 回</td></tr><tr><td rowspan="3">宮下病院</td><td>ホームページの更新</td><td>12 回</td><td>12 回</td><td>12 回</td></tr><tr><td>地元町村広報誌への掲載</td><td>30 回</td><td>42 回</td><td>49 回</td></tr><tr><td>院内健康教室の開催</td><td>13 回</td><td>22 回</td><td>12 回</td></tr><tr><td rowspan="2">南会津病院</td><td>ホームページの更新</td><td>31 回</td><td>20 回</td><td>29 回</td></tr><tr><td>交流イベントの開催</td><td>1 回</td><td>1 回</td><td>1 回</td></tr><tr><td>本局</td><td>県立病院ニュースの発行</td><td>1 回</td><td>1 回</td><td>1 回</td></tr></table>					派遣先	H24	H25	H26	矢吹病院	ホームページアクセス件数	7,293 件	8,460 件	11,830 件	院外広報誌の発行	2 回	2 回	2 回	交流イベントの開催	0 回	1 回	2 回	宮下病院	ホームページの更新	12 回	12 回	12 回	地元町村広報誌への掲載	30 回	42 回	49 回	院内健康教室の開催	13 回	22 回	12 回	南会津病院	ホームページの更新	31 回	20 回	29 回	交流イベントの開催	1 回	1 回	1 回	本局	県立病院ニュースの発行	1 回	1 回	1 回
			派遣先	H24	H25	H26																																												
矢吹病院	ホームページアクセス件数	7,293 件	8,460 件	11,830 件																																														
	院外広報誌の発行	2 回	2 回	2 回																																														
	交流イベントの開催	0 回	1 回	2 回																																														
宮下病院	ホームページの更新	12 回	12 回	12 回																																														
	地元町村広報誌への掲載	30 回	42 回	49 回																																														
	院内健康教室の開催	13 回	22 回	12 回																																														
南会津病院	ホームページの更新	31 回	20 回	29 回																																														
	交流イベントの開催	1 回	1 回	1 回																																														
本局	県立病院ニュースの発行	1 回	1 回	1 回																																														
		<div>[具体的な取組事例]</div> <div><div><div>< 矢吹病院 ></div><div>第 2 回矢吹病院まつり</div><div>日 時：10 月 19 日</div><div>参加者：約 300 名</div><div>内 容：</div><div>子どもを対象にした看護師体験、町内団体による演奏・踊り、健康相談、バザーなど</div></div><div><div>< 宮下病院 ></div><div>院内健康教室の開催</div><div>日 時：通年</div><div>参加者：延べ 93 名</div><div>内 容：</div><div>夏バテ予防、肺炎予防、家庭で出来る応急手などをテーマに実施</div></div><div><div>< 南会津病院 ></div><div>院内コンサート</div><div>日 時：12 月 6 日</div><div>参加者：約 100 名</div><div>内 容：</div><div>福島県庁混声合唱団「きびたき」による演奏</div></div></div>																																																
		2 出前講座等の実施について																																																
<div>[出前講座等の実施]</div> <div>地域に信頼される病院を目指し、行政や団体機関等における講演会等への講師派遣、各県立病院が主催する研修会や出前講座などのイベントなど、職員が積極的に地域に出向いた活動を行う。</div>		地域住民の健康づくりをサポートする一環として、病院職員による出前講座や院内健康教室等を実施した。																																																
		<table><tr><td></td><td>派遣先</td><td>H24</td><td>H25</td><td>H26</td></tr><tr><td rowspan="2">矢吹病院</td><td>出前講座の実施</td><td>-</td><td>2 回</td><td>4 回</td></tr><tr><td>医療講演会の開催</td><td>5 回</td><td>5 回</td><td>3 回</td></tr><tr><td rowspan="2">宮下病院</td><td>出前講座の実施</td><td>29 回</td><td>21 回</td><td>21 回</td></tr><tr><td>医療講演会への講師派遣</td><td>1 回</td><td>1 回</td><td>2 回</td></tr><tr><td rowspan="2">南会津病院</td><td>医療講演会への講師派遣</td><td>9 回</td><td>13 回</td><td>16 回</td></tr><tr><td>学術セミナーの開催</td><td>2 回</td><td>2 回</td><td>3 回</td></tr></table>					派遣先	H24	H25	H26	矢吹病院	出前講座の実施	-	2 回	4 回	医療講演会の開催	5 回	5 回	3 回	宮下病院	出前講座の実施	29 回	21 回	21 回	医療講演会への講師派遣	1 回	1 回	2 回	南会津病院	医療講演会への講師派遣	9 回	13 回	16 回	学術セミナーの開催	2 回	2 回	3 回													
	派遣先	H24	H25	H26																																														
矢吹病院	出前講座の実施	-	2 回	4 回																																														
	医療講演会の開催	5 回	5 回	3 回																																														
宮下病院	出前講座の実施	29 回	21 回	21 回																																														
	医療講演会への講師派遣	1 回	1 回	2 回																																														
南会津病院	医療講演会への講師派遣	9 回	13 回	16 回																																														
	学術セミナーの開催	2 回	2 回	3 回																																														

目標 1：地域医療機関等との連携（各病院の取組状況）

番号	取組機関	アクションプラン	取組内容	進捗状況	取組評価																																									
1	共通取組	地域の医療機関との連携	地域の医療機関との機能分担及び連携強化を図り、紹介率・逆紹介率の向上に努める。	地域の医療・保健・福祉・介護関係者との連携を強化し情報共有に努めた。〔再掲 P 31〕	4 (4)																																									
2		地域生活移行へ向けた支援体制の強化	地域の介護施設等と連携を強化し、新患者数の増加を図るとともに、退院支援体制を構築する。	かかりつけ医や介護施設等と連携しながら、患者さんの希望に沿った状態で退院できるように支援に取り組んだ。	3 (-)																																									
3		診療圏自治体との連携	地域に親しまれる病院となるため、地域住民に身近な行政主体である市町村との連携強化を図り、県立病院運営に対する理解促進に努める。	矢吹町主催の産業祭にブースを出店し、デイケア等作品を展示した。(矢吹病院) 診療圏である柳津町、三島町、金山町、昭和村の広報誌に当院の情報を定期的に提供した。(宮下病院) 南会津町の広報誌に看護師募集の案内を掲載してもらった。(南会津病院)	3 (-)																																									
4		看護学生、高校生等への職場体験機会の提供	看護師を目指す看護学生や高校生等を対象とした職場体験の受入を実施する。	インターンシップや職場体験学習の受け入れを行った。(宮下病院、南会津病院) [インターンシップ] <table><tr><td></td><td>受入日</td><td>団体名</td><td>人数</td></tr><tr><td rowspan="5">南会津病院</td><td rowspan="2">11/12～11/13</td><td>福島県立田島高等学校</td><td>6 人</td></tr><tr><td>7/29 看護協会主催</td><td>福島県立会津工業高等学校</td><td>1 人</td></tr><tr><td>福島県立南会津高等学校</td><td>1 人</td></tr><tr><td>福島県立田島高等学校</td><td>2 人</td></tr><tr><td>福島県立学鳳高等学校</td><td>2 人</td></tr><tr><td>宮下病院</td><td>8/4 県会津保健福祉事務所主催</td><td>会津准看護高等専修学校</td><td>4 人</td></tr><tr><td></td><td></td><td>仁愛看護福祉専門学校</td><td>5 人</td></tr><tr><td></td><td></td><td>白河准看護学院</td><td>2 人</td></tr></table> [職場体験] <table><tr><td></td><td>受入日</td><td>団体名</td><td>人数</td></tr><tr><td rowspan="3">南会津病院</td><td rowspan="3">9/10～9/11</td><td>南会津町立田島中学校</td><td>4 人</td></tr><tr><td>南会津町立南会津中学校</td><td>1 人</td></tr><tr><td>南会津町立檜沢中学校</td><td>2 人</td></tr></table>		受入日	団体名	人数	南会津病院	11/12～11/13	福島県立田島高等学校	6 人	7/29 看護協会主催	福島県立会津工業高等学校	1 人	福島県立南会津高等学校	1 人	福島県立田島高等学校	2 人	福島県立学鳳高等学校	2 人	宮下病院	8/4 県会津保健福祉事務所主催	会津准看護高等専修学校	4 人			仁愛看護福祉専門学校	5 人			白河准看護学院	2 人		受入日	団体名	人数	南会津病院	9/10～9/11	南会津町立田島中学校	4 人	南会津町立南会津中学校	1 人	南会津町立檜沢中学校	2 人	4 (-)
	受入日	団体名	人数																																											
南会津病院	11/12～11/13	福島県立田島高等学校	6 人																																											
		7/29 看護協会主催	福島県立会津工業高等学校	1 人																																										
	福島県立南会津高等学校	1 人																																												
	福島県立田島高等学校	2 人																																												
	福島県立学鳳高等学校	2 人																																												
宮下病院	8/4 県会津保健福祉事務所主催	会津准看護高等専修学校	4 人																																											
		仁愛看護福祉専門学校	5 人																																											
		白河准看護学院	2 人																																											
	受入日	団体名	人数																																											
南会津病院	9/10～9/11	南会津町立田島中学校	4 人																																											
		南会津町立南会津中学校	1 人																																											
		南会津町立檜沢中学校	2 人																																											
5	矢吹病院	地域生活移行へ向けた支援体制の強化	地域医療担当部門を設置し、地域との連携や患者の地域生活移行への支援体制の強化を図る。	地域医療連携室の平成 27 年度設置に向けた検討を行った 退院促進を実施してきた結果、昭和年代入院患者 6 名(前年度 7 名)、平成 10 年までの入院患者 6 名(前年度 3 名)、平成 20 年までの入院患者 8 名(前年度 8 名)について、退院につなげることができた。	5 (5)																																									
6		患者のグループホームへの円滑な移行	「入院医療中心から地域生活中心へ」という「精神保健医療福祉の改革ビジョン」の基本的な考え方を踏まえ、長期の社会的入院患者の退院、社会復帰を促進するため、関係機関との連携を強化しながら、患者のグループホームへの円滑な移行支援を行う。また、こうした取組により平均在院日数の短縮を図る。	退院に向けて在宅サービスの調整やグループホームへの入所調整等を行った。 入院患者の早期退院や地域移行の促進等により退院患者数は 137 名と過去 2 番目の数値となり、平均在院日数も 337 日と対前年度で 33.3 日の短縮となった。	5 (5)																																									

7		県立医大看護学部との共同研究実施による患者の地域生活移行に向けた活動の強化	県立医科大学看護学部との共同研究では、入院患者を三群に分類し、社会復帰支援に向けたアプローチを行っているが、今後、同学部での取組状況に応じて、リハビリテーション組織の在り方や会議の定期開催数などの見直しを図る。	事業中止	- (-)												
8		地域医療機関を対象とした講演会等の開催	院内で予定している講演会や研修会について、地域の医療機関の職員にも参加を呼びかけ、地域の医療の質の向上を図る。	外部からの参加者も広く受け入れ、アウトリーチ事業に関する院内研修会を開催した。 <table><tr><td>日程</td><td>研修テーマ</td><td>参加者</td></tr><tr><td>7月8日</td><td>アウトリーチの実際～地域生活を支えるための活動～</td><td>約27名(院外11名含む)</td></tr><tr><td>8月1日</td><td>措置移送センターによる行政型アウトリーチ活動 群馬県における精神科救急の経験から</td><td>約35名(院外8名含む)</td></tr><tr><td>10月1日</td><td>意見発表及びパネルディスカッション</td><td>約23名(院外13名)</td></tr></table>	日程	研修テーマ	参加者	7月8日	アウトリーチの実際～地域生活を支えるための活動～	約27名(院外11名含む)	8月1日	措置移送センターによる行政型アウトリーチ活動 群馬県における精神科救急の経験から	約35名(院外8名含む)	10月1日	意見発表及びパネルディスカッション	約23名(院外13名)	4 (-)
日程	研修テーマ	参加者															
7月8日	アウトリーチの実際～地域生活を支えるための活動～	約27名(院外11名含む)															
8月1日	措置移送センターによる行政型アウトリーチ活動 群馬県における精神科救急の経験から	約35名(院外8名含む)															
10月1日	意見発表及びパネルディスカッション	約23名(院外13名)															
9		施設の地域開放	グラウンドの貸し出しを行うなど、病院施設の地域利用を促進する。	グラウンド及び体育館を地域開放の対象施設としており、関係行政区長にPRを行った。 平成26年度の貸出実績は1件となっている。(利用目的：地元団体の室内ゲートボール大会)	4 (-)												
10	宮下病院 南会津病院	国保診療所等への診療応援	常勤医師の確保・定着を図り、地域の国保診療所等へ医師を派遣するなど、へき地医療拠点病院としての役割を果たす。	[宮下病院] 柳津町国保診療所への医師派遣(毎週月曜日と所長の夏季休暇取得時に医師1名派遣) 金山町国保診療所への医師派遣(毎週火・水・金曜日に医師1名派遣) 特別養護老人ホーム桐寿苑(毎週木曜日) 特別養護老人ホーム昭和ホーム(第1・3木曜日) [南会津病院] 只見町国民健康保険朝日診療所(整形外科：毎月第1、第3木曜日、医師欠員：毎週水・金曜日の外来、毎週火曜日の当直、毎月1回金曜日当直～道曜日の日直)	5 (5)												
11	本局	地域連携の取組に対する各病院への支援	各病院と連携を図りながら、地域連携の取組みへの支援を行う。	総務省が策定する「新公立病院改革ガイドライン」及び都道府県が策定する「地域医療構想」について情報収集を行い、具体的な対応への検討を行った。 今後は、各病院と連携しながら、地域医療構想を踏まえ、地域の医療体制において果たすべき役割を再認識するとともに、同構想と整合性のとれた形で、各病院の将来(2025年)の病床機能のあり方等について検討を行い、本プランに反映させていくこととする。 <div><div><新公立病院改革ガイドライン> ・策定期間：平成27年3月31日 ・要請内容： 新改革プランを平成27年度又は平成28年度中に策定(既に改定を行っている場合は、本ガイドラインの要請事項のうち不足している部分を追加又は別途策定)し、病院機能の見直しや病院事業経営の改革に総合的に取り組む。</div><div><地域医療構想> ・策定期間：平成27年度中 ・内容： 2025年に向け、病床の機能分化・連携を進めるために、医療機能(高度急性期、急性期、回復期、慢性期)ごとに2025年の医療需要と病床の必要量を推計し、定める。</div></div>	3 (-)												

目標２：県民への情報提供（各病院の取組状況）

取組評価欄の（ ）内は前年度自己評価

番号	取組機関	アクションプラン	取組内容	進捗状況	取組評価							
12	共通取組	ホームページの充実と院外広報誌の発行	医療に関する情報や院内活動等を地域に幅広く伝えるため、ホームページの充実や院外広報誌の発行を通じて、情報発信機能の強化を図る。	ホームページの定期的な更新や院内広報誌の発行、地域住民との交流イベント等を通じて情報発信を積極的に行った。〔再掲 P 33〕	3 (3)							
13		イベントの開催による地域住民との交流促進	健康講座や音楽コンサート等の開催、地元市町村等が主催する医療講演会等への職員派遣などにより、病院の持つ専門的な知識や最新情報を提供し、地域の方々の医療に関する理解促進と普及啓発を図る。	各病院において住民参加の院内イベントや出前講座等を積極的に実施した。 [各病院における主な取組み] <table><tr><th>病院名</th><th>取組状況</th></tr><tr><td>矢吹病院</td><td>矢吹病院まつりを開催し、病院の紹介や健康相談、薬や栄養相談のほか、子どもを対象とした院内探検ツアーやスタンプラリー等を実施し、約 300 人が来場した。(10/19) 保健福祉センターの講座等に出前講座として職員を派遣した。 「子どもたちのこころと病い」をテーマにシンポジウムを開催し、約 80 人が参加した。(11/29)</td></tr><tr><td>宮下病院</td><td>看護の日に院内イベントを開催し、健康チェックやアロマオイルを用いたハンドマッサージ、栄養相談等を実施し、約 20 名が参加した。(5/12) 病院正面玄関入口に四季折々の飾り付けを実施した。 フルート奏者や声楽家を招いたコンサートを開催した。(7/4、12/8)</td></tr><tr><td>南会津病院</td><td>福島県庁混声合唱団「きびたき」を招き、院内コンサートを開催した。(12/6)</td></tr></table>	病院名	取組状況	矢吹病院	矢吹病院まつりを開催し、病院の紹介や健康相談、薬や栄養相談のほか、子どもを対象とした院内探検ツアーやスタンプラリー等を実施し、約 300 人が来場した。(10/19) 保健福祉センターの講座等に出前講座として職員を派遣した。 「子どもたちのこころと病い」をテーマにシンポジウムを開催し、約 80 人が参加した。(11/29)	宮下病院	看護の日に院内イベントを開催し、健康チェックやアロマオイルを用いたハンドマッサージ、栄養相談等を実施し、約 20 名が参加した。(5/12) 病院正面玄関入口に四季折々の飾り付けを実施した。 フルート奏者や声楽家を招いたコンサートを開催した。(7/4、12/8)	南会津病院	福島県庁混声合唱団「きびたき」を招き、院内コンサートを開催した。(12/6)
病院名	取組状況											
矢吹病院	矢吹病院まつりを開催し、病院の紹介や健康相談、薬や栄養相談のほか、子どもを対象とした院内探検ツアーやスタンプラリー等を実施し、約 300 人が来場した。(10/19) 保健福祉センターの講座等に出前講座として職員を派遣した。 「子どもたちのこころと病い」をテーマにシンポジウムを開催し、約 80 人が参加した。(11/29)											
宮下病院	看護の日に院内イベントを開催し、健康チェックやアロマオイルを用いたハンドマッサージ、栄養相談等を実施し、約 20 名が参加した。(5/12) 病院正面玄関入口に四季折々の飾り付けを実施した。 フルート奏者や声楽家を招いたコンサートを開催した。(7/4、12/8)											
南会津病院	福島県庁混声合唱団「きびたき」を招き、院内コンサートを開催した。(12/6)											

平成 26 年度県立病院事業会計決算の概要

< 改革プランにおける経営健全化に向けた収支目標 >
計画期間内に一般会計繰入金のうち「政策医療に係る経費」を平成 24 年度比で 90%以下（10.8 億円以下）に縮減する。 未達（12.1 億円）

< 累積欠損金の処理に係る対応方針 >
収益確保や資本剰余金の取り崩し、資本金の額の減少による処理の検討など、様々な手段を講じ、計画的な削減に努める。 削減額 155.9 億円
（平成 25 年度末：282.2 億円、平成 26 年度末：126.3 億円）

決算の概要	医師の状況																					
総収益 68.4 億円、総費用 83.8 億円となり、純損益は前年度比 8.8 億円悪化の 15.4 億円の損失となった。 累積欠損金は資本金の減資や長期前受金の収益化等により 155.9 億円解消し、126.3 億円となった。	常勤医師数は前年比 1 名増（宮下病院：内科+1）の 12 名となった。																					
純損失	累積欠損金																					
<div>億円</div> <div><table><tr><th>年度</th><th>実績</th><th>改革プラン</th></tr><tr><td>H25</td><td>6.6</td><td></td></tr><tr><td>H26</td><td></td><td>15.0</td></tr><tr><td>H27</td><td>15.4</td><td></td></tr><tr><td>H28</td><td>0.1</td><td></td></tr></table><div>改革プラン比で0.4億円悪化 ・医業収益の減 0.2億円 ・特別損失の増 0.3億円</div><div>前年度比で8.8億円悪化 ・減損会計の適用 12.8億円 ・解体工事 6.5億円 ・長期前受金戻入 +6.6億円 ・会津医療センター関係 +4.2億円</div><div>■ 実績 ■ 改革プラン</div></div>	年度	実績	改革プラン	H25	6.6		H26		15.0	H27	15.4		H28	0.1		<div>億円</div> <div><table><tr><th>年度</th><th>実績</th></tr><tr><td>H25</td><td>282.2</td></tr><tr><td>H26</td><td>126.3</td></tr></table><div>155.9億円解消 ・資本金の額の減少 76.0億円 ・長期前受金の収益化等 95.3億円 ・当年度純損失 +15.4億円</div><div>■ 実績</div></div>	年度	実績	H25	282.2	H26	126.3
年度	実績	改革プラン																				
H25	6.6																					
H26		15.0																				
H27	15.4																					
H28	0.1																					
年度	実績																					
H25	282.2																					
H26	126.3																					

収支計画について

平成 26 年度実績						平成 26 年度の取組状況及び自己評価				
県立病院事業の収支計画						目標値達成状況自己評価			取組状況自己評価	
						経常収支比率	【 5 】	目標値を上回った	【 4 】	積極的に行われている
						職員給与比率	【 4 】	目標値を達成できた	【 3 】	取り組んでいる
						<p>平成 26 年度の経営状況</p> <p>総収益 6,841 百万円に対し、総費用 8,379 百万円で、差引 1,538 百万円の純損失となり、対前年度で 43 百万円の損失増、対前年度で 882 百万円の損失増となった。これにより累積欠損金は 12,626 百万円となった。</p> <p>医業収益は、会津総合病院の廃止及び退職者減に伴う一般会計補助金の減などにより、対前年度で 509 百万円の減となった。</p> <p>医業外収益は、新会計制度適用に伴う長期前受金戻入の計上などにより、対前年度で 739 百万円の増となった。</p> <p>医業費用は、会津総合病院の廃止に伴う費用の減などにより、対前年度で 786 百万円の減となった。</p> <p>医業外費用は、企業債利息の減などにより、対前年度で 16 百万円の減となった。</p> <p>平成 27 年度に向けた取組</p> <p>県立病院として求められる政策医療を確実に実施するとともに、医療の質の向上や患者サービスの充実に努め、地域に信頼される病院づくりを目指していく。</p> <p>第二次改革プランの着実な実施に努めながら、健全な病院運営に取り組んでいく。</p> <p>双葉地域の復興と住民帰還の促進に向けた環境を整えるため、檜葉町に大野病院附属診療所を整備する。(平成 28 年 2 月オープン予定)</p>				

(単位：百万円)

年度	H25 実績	H26 計画	H26 実績	H27 計画	H28 計画
総収益	6,780	6,892	6,841	7,453	6,494
医業収益	3,313	3,043	2,804	2,954	2,978
うち入院収益	1,831	1,605	1,488	1,605	1,605
うち外来収益	1,011	901	889	901	901
うち一般会計繰入	397	468	345	380	403
医業外収益	3,283	3,847	4,022	4,499	3,517
うち一般会計繰入	2,820	2,765	2,936	3,571	2,588
特別利益	184	2	15	0	0
総費用	7,435	8,387	8,379	7,465	6,504
医業費用	6,649	6,098	5,863	5,678	5,686
うち給与費	3,979	3,791	3,643	3,706	3,715
うち材料費	744	513	507	513	513
うち経費	1,142	784	715	784	784
うち減価償却費	668	677	685	594	592
医業外費用	309	318	293	397	389
特別損失	477	1,971	2,223	1,390	429
純損益	▲656	1,495	1,538	12	10
うち大野病院除く	390	1,472	1,515	0	0
不良債務	▲77	0	27	0	0
経常収支比率	94.8%	107.4%	110.9%	122.7%	106.9%
給与費対医業収益比率	120.1%	124.6%	129.9%	125.4%	124.8%
給与費対経常収益比率	60.3%	55.0%	53.4%	49.7%	57.2%

(注) 表示単位未満を四捨五入しているため表中の計算が合わないことがある。

矢吹病院収支計画について

平成 26 年度実績						平成 26 年度自己評価		
矢吹病院 (単位：百万円)						目標値達成状況自己評価		
						経常収支比率	【 4 】	目標値を達成できた
						職員給与比率	【 5 】	目標値を上回った
						病床利用率	【 4 】	目標値を達成できた
						<p>平成 26 年度の状況</p> <p>総収益（繰入前）1,129 百万円に対し、総費用 1,769 百万円で、差引 640 百万円の純損失となり、対プランで 19 百万円の損失増、対前年度で 50 百万円の損失増となった。</p> <p>入院収益は、地域生活移行推進等に伴い患者数が減少（ 2,398 人）し、対前年度で 21 百万円の減となった。</p> <p>外来収益は、患者数がほぼ横ばいで推移（ 42 人）したものの、診療単価が増加（ + 373 円）し、対前年度で 5 百万円の増となった。</p> <p>医業費用は、退職手当の減に伴い給与費が減少するなど、対前年度で 79 百万円の減となった。</p> <p>平成 27 年度に向けた取組</p> <p>精神科救急医療システム事業やマッチング事業、措置入院患者等を通じて、新規患者の獲得に努める。</p> <p>平成 27 年 4 月からの病棟再編による急性期への対応などにより、入院収益の増加に努める。</p>		
年度	H25 実績	H26 計画	H26 実績	H27 計画	H28 計画			
総収益	(1,149) 1,739	(1,085) 1,666	(1,129) 1,730	(1,020) 1,597	(1,020) 1,597			
医業収益	1,038	875	920	875	875			
うち入院収益	687	695	666	695	695			
うち外来収益	173	170	178	170	170			
うち一般会計繰入	168	0	65	0	0			
医業外収益	700	791	809	722	722			
うち一般会計繰入	697	757	768	688	688			
特別利益	2	1	1	0	0			
総費用	1,739	1,706	1,769	1,597	1,597			
医業費用	1,731	1,590	1,652	1,590	1,590			
うち給与費	1,316	1,176	1,217	1,176	1,176			
うち材料費	174	165	174	165	165			
うち経費	145	161	155	161	161			
うち減価償却費	76	78	82	78	78			
医業外費用	6	5	5	5	5			
特別損失	2	111	113	2	2			
純損益	(▲590) 0	(621) 40	(640) 40	(577) 0	(577) 0			
経常収支比率	100.0%	104.4%	104.3%	100.1%	100.1%			
給与費対医業収益比率	126.8%	134.3%	132.4%	134.3%	134.3%			
給与費対経常収益比率	75.7%	70.6%	70.4%	73.6%	73.6%			
病床利用率	65.3%	66.0%	62.1%	66.0%	66.0%			
入院 1 日当たり患者数	134.4 人	136.0 人	127.9 人	136.0 人	136.0 人			
外来 1 日当たり患者数	60.7 人	60.4 人	60.5 人	60.4 人	60.4 人			
(注)() 書きの額は、政策医療に係る経費等を繰り入れる前の額								
(注) 表示単位未満を四捨五入しているため表中の計算が合わないことがある。								

宮下病院収支計画について

平成 26 年度実績						平成 26 度自己評価		
宮下病院 (単位：百万円)						目標値達成状況自己評価		
						経常収支比率	【 4 】	目標値を達成できた
						職員給与比率	【 5 】	目標値を上回った
						病床利用率	【 5 】	目標値を上回った
						<p>平成 26 年度の状況</p> <p>総収益（繰入前）423 百万円に対し、総費用 674 百万円で、差引 251 百万円の純損失となり、対プランで 39 百万円の損失減、対前年度で 43 百万円の損失減となった。</p> <p>入院収益は、内科の患者数が増加（+2,114 人）し、対前年度で 49 百万円の増となった。</p> <p>外来収益は、整形外科を中心に患者数が増加（+263 人）し、対前年度で 1 百万円の増となった。</p> <p>医業費用は、退職手当の減に伴い給与費が減少した一方、患者数の増に伴い材料費、経費等が増加し、対前年度で 5 百万円の増となった。</p> <p>平成 27 年度に向けた取組</p> <p>へき地診療所への代診医派遣の継続や介護老人福祉施設との定期的な情報交換等を通じて、新規患者の獲得に努める。</p> <p>県立医科大学や会津医療センター等の支援を受けながら、特殊・専門外来の充実に努める。</p> <p>出前講座など、職員が地域に出向いて行う活動の積極的な展開などにより、地域に親しまれ信頼される病院を目指す。</p>		
年度	H25 実績	H26 計画	H26 実績	H27 計画	H28 計画			
総収益	(348) 642	(321) 604	(423) 665	(302) 583	(302) 583			
医業収益	310	244	340	244	244			
うち入院収益	116	128	165	128	128			
うち外来収益	107	102	108	102	102			
うち一般会計繰入	74	0	46	0	0			
医業外収益	329	360	326	339	339			
うち一般会計繰入	328	338	292	317	317			
特別利益	3	0	0	0	0			
総費用	642	611	674	583	583			
医業費用	637	579	642	579	579			
うち給与費	425	339	408	339	339			
うち材料費	36	40	46	41	41			
うち経費	116	140	126	140	140			
うち減価償却費	42	48	43	48	48			
医業外費用	3	3	3	3	3			
特別損失	2	28	29	1	1			
純損益	(294) 0	(290) 7	(251) 8	(281) 0	(281) 0			
経常収支比率	99.8%	103.7%	103.3%	100.2%	100.2%			
給与費対医業収益比率	137.0%	139.1%	120.2%	139.1%	139.1%			
給与費対経常収益比率	66.5%	56.1%	61.4%	58.1%	58.1%			
病床利用率	36.0%	40.6%	54.0%	40.6%	40.6%			
入院 1 日当たり患者数	11.5 人	13.0 人	17.3 人	13.0 人	13.0 人			
外来 1 日当たり患者数	61.5 人	58.8 人	62.6 人	58.8 人	58.8 人			
(注)() 書きの額は、政策医療に係る経費等を繰り入れる前の額								
(注) 表示単位未満を四捨五入しているため表中の計算が合わないことがある。								

南会津病院収支計画について

平成 26 年度実績						平成 26 年度自己評価				
南会津病院 <div>(単位：百万円)</div>						目標値達成状況自己評価				
						経常収支比率		【 4 】	目標値を達成できた	
						職員給与比率		【 3 】	目標値をほぼ達成できた	
						病床利用率		【 4 】	目標値を達成できた	
						平成 26 年度の状況 総収益（繰入前）1,971 百万円に対し、総費用 2,350 百万円で、差引 379 百万円の純損失となり、対前年度で 155 百万円の損失増、対前年度で 82 百万円の損失増となった。 入院収益は、退院困難な要因を有する患者への退院支援や重症患者の減による平均在院日数の短縮（ 1.2 日）などにより内科及び整形外科を中心に患者数が減少（ 2,718 人）し、対前年度で 169 百万円の減となった。 外来収益は、整形外科及び外科を中心に患者数が減少（ 971 人）し、対前年度で 29 百万円の減となった。 医業費用は、委託料の増に伴う経費の増加（ +56 百万円） 給与改定及び給与カット終了に伴う給与費の増加（ +37 百万円）などにより、対前年度で 110 百万円の増となった。				
平成 27 年度に向けた取組 当院での手術が可能な患者について、引き続き積極的に入院治療を行うとともに、終末期患者の受け入れも行う。 会津医療センターや会津中央病院、竹田総合病院等との連携により、診療応援を得ながら、地域のニーズに応える体制づくりに努める。 平成 26 年度は、常勤の麻酔科医が確保できなかったため、非常勤医師による手術応援を得て対応してきたが、手術件数の増加を図るうえでも、引き続き、常勤の麻酔科医の確保に努めている。										

年度	H25 実績	H26 計画	H26 実績	H27 計画	H28 計画
総収益	(1,885) 2,180	(2,046) 2,264	(1,971) 2,341	(1,985) 2,195	(1,985) 2,195
医業収益	1,597	1,501	1,403	1,501	1,501
うち入院収益	827	782	658	782	782
うち外来収益	633	629	604	629	629
うち一般会計繰入	92	45	92	45	45
医業外収益	581	761	936	694	694
うち一般会計繰入	575	560	713	493	493
特別利益	1	2	2	0	0
総費用	2,183	2,269	2,350	2,195	2,195
医業費用	2,041	2,064	2,151	2,064	2,064
うち給与費	1,148	1,079	1,185	1,079	1,079
うち材料費	314	308	287	308	308
うち経費	362	440	418	440	440
うち減価償却費	185	222	229	222	222
医業外費用	139	128	128	128	128
特別損失	2	78	71	3	3
純損益	(297) ▲ 2	(224) 6	(379) 9	(210) 0	(210) 0
経常収支比率	99.9%	103.2%	102.6%	100.1%	100.1%
給与費対医業収益比率	71.9%	71.9%	84.5%	71.9%	71.9%
給与費対経常収益比率	52.7%	47.7%	50.7%	49.1%	49.1%
病床利用率	66.1%	64.3%	58.5%	64.3%	64.3%
入院 1 日当たり患者数	64.7 人	63.0 人	57.3 人	63.0 人	63.0 人
外来 1 日当たり患者数	268 人	269.3 人	264.0 人	269.3 人	269.3 人

(注) () 書きの額は、政策医療に係る経費等を繰り入れる前の額

(注) 表示単位未満を四捨五入しているため表中の計算が合わないことがある。

(注)() 書きの額は、政策医療に係る経費等を繰り入れる前の額

(注) 表示単位未満を四捨五入しているため表中の計算が合わないことがある。

大野病院収支計画について

平成 26 年度実績						平成 26 年度自己評価		
大野病院 (単位：百万円)						目標値達成状況自己評価		
						経常収支比率	-	-
						職員給与比率	-	-
						病床利用率	-	-
						<p>平成 26 年度の状況 東京電力福島第一原子力発電所事故により、病院機能が停止している。 総収益 889 百万円に対し、総費用 913 百万円で、差引 23 百万円の純損失となった。</p> <p>平成 27 年度に向けた取組 大野病院と J A 福島厚生連双葉厚生病院との統合は、震災の影響で延期した。 双葉地域の復興と住民帰還の促進に向けた環境を整えるため、楢葉町に大野病院附属診療所を整備する。(平成 28 年 2 月オープン予定)</p>		
年度	H25 実績	H26 計画	H26 実績	H27 計画	H28 計画			
総収益	598	823	889	789	789			
医業収益	60	0	93	0	0			
うち入院収益	0	0	0	0	0			
うち外来収益	0	0	0	0	0			
うち一般会計繰入	60	0	93	0	0			
医業外収益	538	823	794	789	789			
うち一般会計繰入	121	163	116	129	129			
特別利益		0	2	0	0			
総費用	864	846	913	800	799			
医業費用	859	799	870	794	792			
うち給与費	590	550	621	550	550			
うち材料費	0	0	0	0	0			
うち経費	3	2	2	2	2			
うち減価償却費	265	246	246	241	239			
医業外費用	4	4	4	4	4			
特別損失		43	39	3	3			
純損益	265	23	23	12	10			
経常収支比率	69.2%	-	101.6%	-	-			
給与費対医業収益比率	991.7%	-	665.6%	-	-			
給与費対経常収益比率	98.8%	-	70.0%	-	-			
病床利用率	-	-	-	-	-			
入院 1 日当たり患者数	-	-	-	-	-			
外来 1 日当たり患者数	-	-	-	-	-			

(注) 表示単位未満を四捨五入しているため表中の計算が合わないことがある。